

文教委員会

開催日	平成26年3月12日
時間	午前9時30分～午後2時28分
場所	委員会室
出席議員	八木 勝之、浅井 泰三、天野 武藏、猿山 由利子 村瀬 勝哉、横井 敏雄 (常川 則雄副議長)
欠席議員	なし
その他の出席者	加藤市長 永田副市長 柴田企画部長 葛谷企画部次長兼企画政策課長 加藤(秀) 人事秘書課長 鷺見総務部長 平子財政課長 齊藤教育長 櫻井教育部長 佐藤教育部参事 濱島教育部次長兼生涯学習課長 浅田学校教育課長兼新給食センター準備室長 前田スポーツ課長 浅野西枇杷島学校給食センター所長 岡島清洲学校給食センター所長 加藤(嘉) 新川学校給食センター所長 木田春日学校給食センター所長 菅野学校教育課主幹 下村学校教育課副主幹 加藤(亮) 新給食センター準備室主幹 栗本生涯学習課長補佐 石田生涯学習課副主幹 小川清洲学校給食センター所長補佐 木全スポーツ課係長 関係職員 木村議会事務局長 岩花議会事務局議事調査課長 葛山議事調査課副主幹
議案又は協議事項	1. 文教委員会付託案件
備考	傍聴者 1名

(時に午前9時30分 開会)

文教委員会委員長 (八木 勝之君)

おはようございます。定刻となりましたので、ただいまから文教委員会を開催いたします。

昨日の本会議において、文教委員会に付託となりました議案について、御審議いただくわけですが、その前に、市長から御挨拶を受けたいと思います。

市長、よろしくお願ひいたします。

市長 (加藤 静治君)

改めましておはようございます。本日は議員各位におかれましては、文教委員会御出席まことに御苦労さまでございます。今、委員長さんから申されましたように、当委員会に付託になりました案件につきまして、詳細に説明させていただきますので、十分なる御審議をいただきまして、そして御賛同を賜りますことをお願い申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひします。

文教委員会委員長 (八木 勝之君)

ありがとうございました。傍聴者はお見えですか。

事務局 (葛山 悟君)

一般傍聴人の方が1名見えます。

文教委員会委員長 (八木 勝之君)

はい、どうぞ。

当委員会に付託された所管は教育委員会の各所管です。

最初に、議案第1号 平成26年度清須市一般会計予算案について、各所管ごとに歳入、歳出続けて御説明をいただきたいと思います。

次長。

教育部次長兼生涯学習課長 (濱島 治久君)

生涯学習課、濱島でございます。よろしくお願ひします。それでは、平成26年度予算及び説明書のほうをお願ひをいたします。

最初に6ページをお願ひします。第2表債務負担行為です。一番下の段になります。学校給食配送業務委託事業、期間平成27年度から平成30年度まで、限度額2億545万2千円、新学校給食センターの配送業務の委託に係るものでございます。

右のページをお願ひします。第3表地方債です。起債の目的の中ほどになります。公民館整備

事業5千万、体育施設整備事業2千万、学校給食センター整備事業6億5千万が所管分です。起債の方法、普通貸借または証券発行、利率4%以内、償還の方法、政府資金及び県資金については、その融資条件により銀行、その他の場合はその債権者と協定するものによる。ただし、市財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、また繰上償還もしくは低利に借りかえることができる。

それでは、歳入18、19ページをお願いします。歳入につきましては、教育部所管分を一括で朗読説明をさせていただきます。

18ページ上段、12款使用料及び手数料、1項使用料、4目労働使用料、本年度予算額311万5千円。1節の労働使用料で西枇杷島勤労福祉会館使用料です。にしびさわやかプラザの使用料になります。

下がっていただいて、8目教育使用料、本年度予算額3千281万5千円。1節幼稚園使用料から3節保健体育使用料までで、幼稚園の授業料や社会教育、社会体育施設等の使用料、また、学校施設開放の使用料です。なお、2節の社会教育使用料のうち、一番上、西枇杷島会館使用料は所管外でございます。

2枚めくっていただきまして、22、23ページをお願いします。上段、13款国庫支出金、2項国庫補助金、6目教育費国庫補助金、本年度予算額1億2千450万8千円。1節小学校費補助金から5節保健体育費補助金までで、1節の小学校費から3節の幼稚園費までは、それぞれの援助費や奨励費補助金、4節は、バラけたこけら経の調査・保存に対する補助金、5節は、新学校給食センター整備に対する補助金でございます。

また1枚めくっていただきます。14款県支出金、2項県補助金、下の段になります。8目教育費県補助金、本年度予算額811万7千円。1節教育総務費補助金で、放課後子ども教室推進事業費補助金でございます。

また1枚おめくりいただきます。上段、県支出金、3項県委託金、1目総務費委託金のうち、4節統計調査費委託金の説明欄上から3つ目、学校基本調査事務市町村交付金が所管分でございます。下がっていただきます。5目教育費委託金、本年度予算額36万8千円。1節教育総務費委託金で、小中学校が行う体験学習等に対する委託金でございます。

また1枚おめくりいただきます。中ほどになります。16款寄附金、1項寄附金、5目教育費寄附金、予算額1千円で受け入れ枠の計上でございます。

また次のページ、1枚めくっていただきます。上段、17款繰入金、2項基金繰入金、1目基

金繰入金のうち説明欄、下の段、義務教育施設整備基金繰入金、これは主に新学校給食センター整備に係るものです。その下、美術振興基金繰入金は、絵画トリエンナーレのための繰り入れをするものでございます。

3枚めくっていただいて、36、37ページをお願いします。上段、19款諸収入、5項雑入、10節教育費雑入で、本年度予算額2億9千363万2千円。高等学校用地使用賃貸借料から、一番下の雑入でございます。主なものは学校給食費でございます。その下、20款市債、1項市債、4目教育債、本年度予算額7億2千万円。1節社会教育債は、公民館整備事業債で春日公民館の整備費に係るものでございます。2節の保健体育債は、カルチバ新川、新学校給食センターの整備に係るものでございます。

歳入は以上でございます。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

おはようございます。学校教育課長、浅田でございます。今、次長のほうから歳入の説明をさせていただいたんですが、1点補足をさせていただきたいと存じます。

同じ資料の36、37ページのところでございますが、諸収入の雑入、教育費雑入のところで、主なものとして学校給食費ということで次長のほうが御報告を申し上げましたが、この学校給食費につきまして、消費税とは別で、これまで合併後、給食費の改定がされずに来ておりまして、そんな中で、基本物資の値上がり部分、それから、摂取カロリーの増ということで、学校給食摂取基準の改定などが行われてきております。

それから、中学校におきましては、給食の回数が5回ほど増というふうになっておる、そんな中で、今までは何とか給食センターのほうでやりくりをしてまいりましたが、この26年度について、値上げの給食費の改定を検討させていただきまして、審議の経過ということで、昨年11月27日に学校給食センターの運営委員会、それから12月6日には市の教育委員会の定例会、こちらで御審議のほうを賜りまして、それぞれ全委員の方から御賛同を得たということで、こちらの給食費の収入につきましては、幼稚園・小学校月額200円、それから中学校におきましては月額300円を増という改定をさせていただいた積算をさせていただいておるということでございます。

収入の分の補足ということで1点お願いします。

天野 武藏委員

幾らから幾らになったんだ。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

幼稚園が、現行が3千400円でございます。改定後が3千600円。200円の増。それから、小学校につきましては、現行が3千700円、こちらを3千900円。中学校につきましては、月額現行が4千200円、こちらを月額4千500円。300円の増ということで、こちらで積算のほうをさせていただいて、こちらの収入の積算をさせていただいておるといってござい
ます。

続きまして、歳出の御説明をさせていただきたいと存じます。

同じ説明書の84、85ページをお願いいたします。10款教育費、1項教育総務費、26年度予算額239万6千円。1節の報酬から19節負担金補助及び交付金まででございます。主なものは、教育委員会委員の報酬でございます。

続きまして、2目の事務局費でございます。予算額2億4千804万9千円でございます。1節の報酬から20節の扶助費まででございます。主なものとしたしましては、教育事務費のところでございますが、一番下でございます。県教職員派遣負担金ということで、学校の現場の先生を派遣指導主事という形で教育委員会事務局にお迎えをしております。それに係る負担金など
でございます。次に、その下の教育指導費の中では、最初の英語指導嘱託員報酬等ということで、外国人の方に英語指導に当たっていただいております。その下でございますが、青少年・家庭相談嘱託員報酬等ということで、先生のOBの方、それから5段下でございますが、青少年・家庭教育相談費ということで、こちらは警察のOBの方、お二人を本庁舎学校教育課内のほうに席を設けまして、学校現場を初め、登校の指導、市内各所の巡回指導、あるいは、西枇杷島警察署など関係機関との連携などなどで御活躍をいただいております。次に、最下段でございますが、放課後子ども教室費でございます。次の86、87ページにわたって
ございますが、市内4地区において運営をさせていただいております、それぞれの放課後子ども教室費でございます。

続きまして、2項小学校費でございます。1目学校管理費、予算額3億630万5千円でございます。1節の報酬から19節負担金補助及び交付金まででございます。主なものとしたしましては小学校事務費で、学校医等の報酬、少人数学習指導講師などの賃金、あるいはパソコンなどの借り上げ料など
でございます。小学校管理費につきましては、光熱水費、施設の修繕・保守点検委託等に係る経費でございます。次に、小学校整備費でございますが、本庁舎増築等に係ります新川体育館の解体に伴いまして、今、新川体育館で実施をしております放課後児童クラブを児

童館の整備が終了するまで、新川小学校の民族資料室で受け入れるための整備、また、校舎の構造体耐久性調査といたしまして、施設の長寿命化に向けての構造体の劣化の程度から、建物の耐久性の調査を行うということで、西枇杷島小学校、清洲小学校、新川小学校で実施をする予定をさせていただきます。

続きまして、88、89ページのほうをお願いいたします。小学校の教育振興費でございますが、予算額6千175万5千円。8節の報償費から20節扶助費まででございます。主なものでございますが、教科用の消耗品、教材用備品などの購入に係る費用でございます。また、入学祝い品、卒業記念品などの費用もこちらで計上させていただきます。

続きまして、3項の中学校費、1目学校管理費、予算額2億3千258万8千円でございます。1節の報酬から19節負担金補助及び交付金まででございます。昨年度と比較いたしまして、3億7千287万3千円の減となっております。それぞれ4中学校のトイレの洋式化、また新給食センター建設に伴います清洲中学校の代替体育施設整備の終了などによりまして減となっております。中学校事務費では、小学校費と同じように、学校医等の報酬、少人数学習指導講師等の賃金でございます。次に、中学校管理費でございますが、こちらも小学校管理費と同じように、光熱水費、施設修繕ですとか保守点検などに係ります費用でございます。次に、中学校整備費でございますが、小学校と同じく西枇杷島中学校、清洲中学校、新川中学校におきまして、校舎の構造体耐久性調査を実施をさせていただきたいというふうに考えております。それから、新給食センター建設に伴います清洲中学校の代替施設につきまして、トイレなどの整備ということで、2期工事という形で整備をさせていただくものでございます。続きまして、教育振興費でございますが、予算額4千167万7千円。8節報償費から、次のページ、90、91ページにわたっておりますが、20節の扶助費まででございます。こちらも小学校と同じように、教科用の消耗品、学力検査、教材用備品購入に係る予算、また、同じように入学、卒業に係りますお祝い品、記念品の費用でございます。

次に、4項の幼稚園費でございます。1目幼稚園管理費、予算額1億2千470万9千円。1節報酬から19節負担金補助及び交付金まででございます。幼稚園事務費の主なものでございますが、小・中学校と同じように園医等の報酬、あるいは支援員などの賃金、事務関係の消耗品などでございます。次に、幼稚園管理費でございますが、こちらも光熱水費、保守点検などの委託関係の費用、施設等の修繕料などの予算でございます。また、幼稚園整備費といたしまして、新給食センター開設に伴いまして、配膳用ダムウォーターの改良工事を行わせていただきたいと

いうものでございます。

それから、続きまして、2目の教育振興費でございますが、予算額149万1千円。11節需用費から19節負担金補助及び交付金でございます。2園の消耗教材費、教材用備品、スポーツ振興センター負担金などが主なものでございます。

学校教育課所管につきましては以上でございます。

教育部次長兼生涯学習課長（濱島 治久君）

1枚めくっていただきます。生涯学習課濱島でございます。

5項社会教育費、1目社会教育総務費、本年度予算額1億3千873万8千円。1節報酬から19節負担金補助及び交付金まででございます。主なものは人件費、また、男女共同参画推進費では、男女共同参画プランの中間見直し計画策定が完了したことにより、前年度より270万ほど減額となっております。平和学習推進費では、26年度も小学生児童を広島平和記念式典に、また、中学生海外派遣費では、国際的感覚を身につけてもらうよう、オーストラリアへ派遣する費用を計上をいたしております。

次に、2目公民館費、本年度予算額1億6千674万1千円、11節需用費から19節負担金補助及び交付金までで、それぞれの施設の整備費では、市民センターでは、今年度行いました外壁打診調査の結果をもとに、外壁タイルの剥落危険箇所の改修と、舞台の吊物設備の改修費を、春日公民館では、舞台吊物と舞台照明設備の改修費を計上させていただいております。

3目文化財保護費、本年度予算額2千725万1千円。1節報酬から、1枚めくっていただきまして、19節負担金補助及び交付金まででございます。恐れ入ります。戻っていただきたいと思っております。主なものは、西枇杷島の山車などに対する市の指定文化財補助金でございます。次に、次のページですが、歴史資料展示室費では、常設展のほか3回の企画展を計画をしております。

次に、4目社会教育施設費、本年度予算額1億6千264万7千円。1節報酬から14節使用料及び賃借料までで、にしびさわやかプラザ費は、下水道接続工事と浄化槽の雨水貯留槽転用工事が完了したということで、前年度より減額となっております。夢広場はるひ費では、指定期間が満了に伴う選定審議会委員報酬、また、管理費のほうでは、指定管理委託料が含まれております。トリエンナーレ開催費は、2年目に係る車両の費用を計上させていただいております。

生涯学習課所管分は以上でございます。

スポーツ課長（前田 剛史君）

スポーツ課長、前田でございます。続きまして、スポーツ課所管分をお願いいたします。

6 項保健体育費、1 目保健体育総務費、本年度予算 8 千 5 7 万円。1 節報酬から 1 9 節負担金補助及び交付金まででございます。主なものは、ことしからスポーツ課所管になりました清須ウオーク費、体育協会補助金、子ども会活動費補助金でございます。

続きまして、2 目体育施設費、1 節の報酬から、次の 9 6 ページ、9 7 ページの 2 2 節補償、補填及び賠償金まででございます。主なものは新川体育館解体に係ります費用、それから、清洲勤労福祉会館費、新川地域文化広場管理費でございます。

スポーツ課所管分は以上でございます。よろしく願いいたします。

新川学校給食センター所長（加藤 嘉一君）

新川学校給食センター、加藤です。よろしく願いいたします。引き続き、給食センター所管分の歳出予算の御説明を申し上げます。

3 目給食センター費、本年度予算額 1 9 億 7 千 8 1 4 万 4 千円。1 節報酬から 1 9 節負担金補助及び交付金です。本年度の給食センター費における事務費、管理費、運営費につきましては、現在の 4 センター分と、9 月から運営を開始いたします新給食センター分を合わせた分となっております。事務費の主なものについては、臨時職員賃金です。次に、管理費の主なものについては、光熱水費、排水処理設備点検、新センターにおける空調機器点検、施設警備業務等の委託料です。運営費の主なものについては、給食に係る衛生薬品及び調理員の被服費等の消耗品費、賄材料費、給食配送回収業務委託料です。整備費は、新センターで使用する食器、かご、食缶、調理器具類を需用費として、その他、工事請負費、厨房備品等の備品購入費です。解体費については、新給食センター新設に伴い、既存の 4 センターを解体するための工事請負費等です。

給食センター所管分は以上でございます。よろしく願いいたします。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

ありがとうございました。

ただ今から、審議に入るわけですが、質疑者あるいは答弁者は必ず挙手をしていただいて、指名の後、名前を名乗ってから、答弁に入っていただきたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

なお、議案第 1 号の質疑については、まず歳入の質疑を行い、ページごとに順に進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

それでは、質疑を承りたいと思います。歳入の 6 ページ、7 ページについての御質疑はございませんか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

では次に、18、19ページ。

はい、どうぞ。

猿山 由利子委員

お尋ねします。教育使用料の中で、幼稚園使用料は、これ授業料が計上してあると思うんですが、この幼稚園の授業料、昨年よりも720万程度少なくなっているんですが、これは幼児教育無償化に向けた段階的な取り組みの中の一環で、これ少なくなっているということでしょうか。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長 (浅田 克幸君)

そういった部分もございまして、昨年度より減額というふうになっておるというところで、授業料に関しては、据え置き額でございますが、今、子ども・子育て審議会のほうで、いろいろ負担の均一化、平準化ということの審議もされておりますが、今のところ同額で積算のほうをさせていただいております。

文教委員会委員長 (八木 勝之君)

猿山委員。

猿山 由利子委員

同額ですか。その減ってる部分は、その幼児教育無償化のあれとは関係ないですか。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長 (浅田 克幸君)

学校教育課、浅田でございます。

単面的には変わっておりませんが、人数が減っている部分、第2幼稚園を28年度から閉鎖に向けておるとい部分もございまして、人数自体も減っておるといところもございまして。以上です。

猿山 由利子委員

人数はどの程度の見込みですか。

文教委員会委員長 (八木 勝之君)

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長 (浅田 克幸君)

まず、26年度につきましては、284名ということで、現在、積算のほうをさせていただいておるといところでございます。昨年の積算では320名ということで、人数のほうを積算をさせていただいておりましたので、ここで40名ほどの人数の対象者の減になっておるといこ

とでございます。

猿山 由利子委員

わかりました。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。ほかに御質疑はございませんか。

それでは、22、23ページに入ります。

猿山委員。

猿山 由利子委員

2のところの国庫補助金ですね、教育費の。その中に幼稚園の就園奨励費補助金が、これプラスということで、これは先ほどの無償化に関する国からの補助金ですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課、浅田でございます。幼稚園就園奨励費でございますが、今、御指摘のような内容でございます。第2子の負担も半額、2分の1になるとか、第3子についての無償化、そういった制度の中で、こちらの就園援助費のほうが同額になっておるところでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

猿山委員。

猿山 由利子委員

対象者は、ちなみに。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

申しわけございません。学校教育課、浅田でございますが、私立幼稚園のほうでは323名を積算をさせていただいております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

猿山 由利子委員

それで、就園費の国の補助率というのは、決まっておりますか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

3分の1でございますが、それに一部調整率ということでかけられておまして、3分の1のそこに、また調整率が70%ほどの調整率がかかっておるところでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

猿山 由利子委員

はい、ありがとうございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

ほかに御質疑はよろしいですか。

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

浅井ですが、埋蔵物、この調査費ですけども、この埋蔵物にかかわらず、以前にちょっとお聞きしたことがあると思うんですけども、市内のいろんな文化財といいますか、それらしきといいますか、市民の皆さんから見ると、こういうものは残してほしいというような、いろんな建造物やいろんな物体といいますか、そうしたものが多々、市内にあると思うんですよね。

以前お聞きしたときに、これ、どなたの御回答だったかちょっと覚えがないんですけど、中身はもう改造されてると、そういったものは一切、手をつけられないというか、たしか、ある程度、建造物、ずっと古いものが保存されてなきゃ、手が加えてあれば、そういったものは対象にならないと前お聞きしたことがあるんですよね。そのことが、お金の要る話ばかりで恐縮なんですけど、そうした考えの中で、全くこれもあれも、もう手をつけれんよといったことで、手をこまねいたまま朽ち果てていくのが、これから多々多々、あると思うんですよね。

やっぱりそういった文化財というのは、国から補助をもらおうと思うと、非常に厳しいいろんな規制があると思うんですけども、本市としての考え方というのは、やっぱりいまだに方針として変わらないものなのか。まあ一度、あれから三、四年たつもんですから、一度何だか、私も古いのでいかんですけども、国のそういった補助体制を何とかこう引き継ぎ出す、こういった手だてないもんですかね、どうなんですかね、教育部長さん。前に教育部長さんにお聞きしたことがあったような覚えがあるんですけど、濱島さんでしたかね、ちょっと覚えがないんですけど。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

濱島課長。

教育部次長兼生涯学習課長（濱島 治久君）

生涯学習課、濱島です。私だったか部長だったか、ちょっと記憶がございませんが、歴史的建造物については、補修、どういうんですかね、元の姿に戻す補修と、ただ単に壊れたところを直す補修がございまして、もとの姿が変わってしまっていれば、歴史的な価値が少し落ちたということで、歴史的価値を保存しようと思うと、国指定の文化財等を改修する場合は、本当に当時の姿に戻すような改修ということで、ボルトを打ったり全景が変わったりという補修になりますと、なかなか文化財としての価値というか、が下がるということのニュアンスでお答えさせていただいたと思います。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

あれから随分たつわけなんですけども、それを私が素人目で見ても、新しい柱が1本入ってるよとか、倒壊のおそれがあるから突っかい棒がやってあるよとか、いろんな判断の中で、あのときそのままになってたと思うんですけども、じゃあそういった判断は、我々が申請をしたときに、一体どんなもんですかといって私たちが判断するものなのか、それとも、濱島さんらが、ちょっと手間をかけて申しわけないんですけども、そういったものを見に来て、「ああ、これはちょっと直してあるので、いかんよ」とか、そういった判断はどなたがどういうふうにされるんですかね。あのときはお聞きしただけで、それっ切りになってたと思うんですけども、いかがですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

濱島課長。

教育部次長兼生涯学習課長（濱島 治久君）

お話を部長からお伺いした後に、学芸員がお邪魔して、もう既に1年以上はたつとると思うんですが、学芸員がちょっと見させてもらって、あれは芯柱、ごめんなさい、私も知識がない。

浅井 泰三副委員長

ええ、芯柱なのか。

教育部次長兼生涯学習課長（濱島 治久君）

芯柱がもう既にとってあって、軒下に置いてあるような状態だとか、倒れないように筋交いと

いうんですかね、筋交いが普通の鉄のボルト締めでしてあるんですとか、窓枠がたしか4面か5面あるんですかね、木の棧で組んだ窓枠がその当時のものが1つ現存してあるだけで、あとは普通の木枠で修復してあるだとかいうことで、学芸員が行って確認をさせていただいて、この状態では文化財保護審議会に少しかけれる状態ではないということ、奥様にも少しお話だけはさせていただいておるといふふうに記憶しております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

とするとね、例えば、失礼な話では、そういう知識がなかったと言えればそれまでなんですけれども、そうじゃなくて後で救済の方法として、じゃあ例えば、そういったボルトをとったり、窓枠も全部撤去して、もとに近い形に、要は手を加えてないよと、朽ち果てた分をそのままのぞいてたよと。柱も残ってるよと、窓枠の残骸も残ってるよと、そうした状況のときに、じゃあこの古いものを保存する方法として、そうした手を加えてない状態に戻せば、ある程度話は進むものなんですかね、いかがですか。

いや、それはどっちが先かわからないですよ。倒壊するのが先なのか、それはね、国庫の補助がついて、それを直す費用が出て、「さあ急いで直そう」ということになるのか、はたまた、間に合わずに、そういうものを外しちゃったら、もうがらがらと崩れちゃったよと、どっちがどうなんですかね。

その周りから、当事者といいますか、所有者そのものも心配してるんですけど、周りの人から、本当は言う人がお金出してくれりゃいいんだけど、なかなかそうはいかんもんですから、周りから「何とかせよ、何とかせよ」と言って、せつかくの文化財が資源のまま古いものをこのまま朽ち果てていってて、指をくわえて見とるだけでええのかと、何らかの方法がないのかと、こういう声がまた、ぞろっと上ってきたもんですから、少し、その辺いかがなんですかね、どっちが先なんですか。壊れるのが先か、それとも外すのが先か。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

櫻井部長。

教育部長（櫻井 広根君）

教育部、櫻井でございます。次長が先ほど説明させていただいたとおり、朽ち果てるのを待つというわけじゃなくて、それを何とかしたいと、それをオリジナルにさせていただくのが一番いい

んですけども、過去に古くなったときに、朽ち果ててはいけないということでの善意で、多分改修されてると思うんですよね。その改修がオリジナルでないということで、それをオリジナルにするような改修の前ですと、市の方ですと補助要綱、これは限度額があるんですけども、5分の4の100万と、現況を私も見させていただいて。

浅井 泰三副委員長

あ、見られた。

教育部長（櫻井 広根君）

はい。

浅井 泰三副委員長

あ、そうですか。

教育部長（櫻井 広根君）

立派なもので、その後、ちょっと関心があってテレビやなんかを見てると、岐阜のどこに多宝塔があるだとか、愛知県のどこに多宝塔があると、同じ歴史を持っているのかなど。それと、新川の庁舎なんかを見ますと、やはりそういうボルトで養生してあるだとか、そういう改修をしてあるという記述はありますので、その記述と学芸員が現況を見て、やはりオリジナルと違うというようなことで、これを本当にオリジナルに直そうと思うと、今、言った5分の4の100万円というのは、いかにも、もとに戻すだけの金額にはとてもならないというような状況で、前回も概要は、そういう説明をさせていただいたという記憶をしておりますけれども。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

浅井ですが、なら、手だてとしては、先にそういったものをとにかく外して、現状に近い形にせよと、今の窓枠がない、芯柱はとれとるとか、そういうことに関して、新しい物を外せばいいわけ、何遍も聞いて恐縮なんですけど、倒れん程度にね。どうなんですか。それだと少し対象になるわけですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

櫻井部長。

教育部長（櫻井 広根君）

今、説明させていただいたのは、例えばオリジナルと違うものをつけたからだめだという、そ

れもありますけど、じゃあ外しちゃって、柱も抜いちゃってという、反対に余計朽ちるのを待つような状況、それがために、従前、手直しいうんですか、手を入れていただいとると思うんですけども、柱を抜いたからというんじゃないで、同じ形状の柱、新品であってもそういうもので復元していただきたいと。そうすると、先ほどの話じゃないんですけども、この補助金が大いに役に立つような金額まで応援できるかという、そこまでは至らない金額というふうで考えておりますけども。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

そうすると、もう自主努力以外は手がないということですか、ほとんど。そんなようなふうで聞こえてくるんですけども。いや、例えばそういったいろんな方々を募って、従前募ってやるとか、今のところだと、そういう手だてしかないという、今、部長がおっしゃれる、じゃあ抜いてそれに近い形といたら、結局お金が要ることやわね。そういうことなんですか。いいよ、はっきりおっしゃっていただければ。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

櫻井部長。

教育部長（櫻井 広根君）

今の制度を利用していただくといいますと、金額の多い、補助率の多い少ない、いろいろございますけども、補助率、金額からいったら、本当に御地元だとか関係者だとか、そういう方が常在員だとか、しっかりした計画を、それを半復元できるような、そういう計画を示していただかないと、こちらのほうの補助金のほうの申請のほうも使っていただけないんじゃないかと、そのように考えております。

浅井 泰三副委員長

そうですか。わかりました。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。猿山委員。

猿山 由利子委員

その下の学校施設環境改善交付金について伺うんですが、25年度は新学校給食センターに伴う交付金をいただいたんですね、5千690万、これは何で使うんですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課、浅田でございます。国庫支出金の教育費国庫補助金、保健体育費補助金の学校施設環境改善交付金、こちらの新学校給食センターに関連する交付金ということでございます。それぞれの本体附帯設備工事、あるいは厨房設備工事に対しての交付金でございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

猿山委員。

猿山 由利子委員

年度単位で交付金、同じ事業ということで、でも年度単位で。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

債務負担行為で事業を進めさせていただいております、25年度と、それから26年度分ということで、それぞれの工事に係る交付金ということでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

猿山 由利子委員

はい。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

それでは、24、25ページに移ります。御質問ございませんか。よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

じゃあ、26、27ページに移ります。よろしいですか。

じゃあ、28、29ページ。よろしゅうございますか。

じゃあ、30、31ページ。よろしいですか。

じゃあ、36、37ページ。御質疑ありませんか。よろしいですか。

はい、どうぞ。猿山委員。

猿山 由利子委員

済みません。先ほど詳しく御説明いただきました学校給食費についてですが、200円、

300円と上がっていくということで、消費税のアップのことは関係なくということで、8%から10%に多分、それは別として、ずっと上げてなかったのではというんでしょうか、きつきつ頑張ってください、これは周知というのは、もうされたんですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課、浅田でございます。まだ議会のほうでの御審議を経ておりませんので、先ほど申し上げましたように、まず、給食センターの運営委員会、それから教育委員会のほうでは御審議を賜ったわけでございますが、まだ議会のほうの御報告といたしますか、提案をさせていただいておりませんでしたので、これで御了承いただければ、速やかに周知に着手したいということでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

猿山委員。

猿山 由利子委員

どんな、文書でですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

一応、文書での周知を考えておりますが、期間が短いものですから、ほかの方法もあわせて検討するというふうに考えております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

猿山 由利子委員

はい。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

では、これで歳入を終わらしまして、歳出84ページ、85ページに移りたいと思います。

横井委員。

横井 敏雄委員

横井です。85ページですが、この中に英語指導嘱託員報酬費がございます。2千737万

5千円。今これ外国人の方は何名で、どういう国籍とかナショナルリティーの方が見えているのか、ちょっと教えてください。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課、浅田でございます。英語指導嘱託員の報酬のところでございますが、人数といたしましては5名でございます。5名の方が指導に当たっていただいております。それから、国籍については、アメリカとイギリスでございます、アメリカの方が2名、イギリスの方が3名だったと記憶しております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

横井 敏雄委員

はい。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

ほかに御質疑はございませんか。猿山委員。

猿山 由利子委員

よろしいですか、済みません。85ページ下のほうの下から2番目なんです、学生等学校派遣費なんです、25年度300回の予定で、今度26年度は年間の予定が150回ということに半分に減ってるんですが、ここら辺はどんな状況ですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課、浅田でございます。今の学生等学校派遣費ということでございますが、25年度は300回という見込みをしておりましたけれども、なかなかやっぱり学校と学生さんとの需要と供給と申しましょうか、そのところがうまく合わない部分もございまして、ちょっと延べで300というのが実施ができていない状況もございまして、実態に即した形で、少し回数を直させていただいたということでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

猿山 由利子委員

はい。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

では、次のページに移ります。86、87ページに移ります。

天野委員。

天野 武藏委員

天野でございます。学校管理費の下のほうの小学校整備費、先ほどの説明では、延命診断がここに入っているということなんですけど、清洲小学校の整備については、以前、設計書までできて、建てかえるという方向が前は示されていたと思うんですけど、その点について、今これはもう延命のほうに変わりつつあるのかどうか、再度お聞きします。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

櫻井部長。

教育部長（櫻井 広根君）

櫻井です。延命か建てかえるかという判断材料、国の交付金等を導入する場合に、何年たったら老朽化するよということではありませんので、そのコンクリートの耐久度だとか、中性度だとか、鉄筋の腐食度だとか、そういう構造体のところを調べて、これは改築か建てかえの場合は、そういう指標を出して申請をする必要がありますし、非常にこれはコンクリートももつ、いい、その当時としてはいい建物だということであれば、長寿命化をしていくというようなことも含めて、この、まずは昭和30年代に建築した小中学校を対象に調査をさせていただくということでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

じゃあそれはそれでその診断分という形で認識しています。

今度は、教室関係の普通教室とか、非常に小学校の場合、前から申し上げているように減ってきているんですね。特別の教室を潰しては潰しては普通教室へということなんですけど、ことしの小学校1年生のほうの、どうですか、入学者というか、やっぱり四、五クラスぐらいありますか、学校の小学校入学。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課、浅田でございますが、清洲小学校は、一応、新入学6クラスの予定でございます。ちょっと微妙なところで、人数の今まだいろんな異動等がございまして、少し微妙なところはありますけれども、多いと6クラスになるという現状でございます。

天野 武藏委員

あと1カ月だよ、入学まで1カ月足らずだよ。でもまだ、その5クラスか6クラスか決まらないという、それも3月ぐらいに異動が来るとのことなんですか。それで先生たちの配置なんかも変わってきますよね。そんなとこなのかな、今の1カ月もないのにもう。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

佐藤参事。

教育部参事（佐藤 益江）

参事の佐藤でございます。ちょうど今、1名でその移動する5クラスか6クラスのところでございますので、今のところは6で配置をさせていただいております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

まだ普通クラスが1クラスふえるということになるんですけど、その対応というのは、今の教室の空き教室はないと思うんですけど、対応できるということですか。それとも、新たにまたどっか特別教室を潰して普通教室に回すという、どうでしょう。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

佐藤参事。

教育部参事（佐藤 益江）

参事の佐藤でございます。現時点では、どこかの教室を潰すとか、そういうことはございません。今のところでやれる状態になっています。来年度の26年度はなっております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

小学校6年生までで全部で何クラスになりますか、今度26年度は。仮に1年生が6クラスと

して。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

佐藤参事。

教育部参事（佐藤 益江）

参事の佐藤でございます。28、ちょっと見させていただいていいですか。

はい、参事の佐藤でございます。28でございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

28クラス。では最後に、部長に今のようなことをお聞きして、やはり清洲小学校の勉強するという環境が、非常によくないと言えばよくないんじゃないかと、前にも昨年度も、いろいろな意味で御質問もさせてもらったりしたんですけど、理科の実験教室やなんかも、どんどんらしい教室じゃないし、小学校4年生以上の理科の実験をするには、1週間丸々使っても、みんなが使えるか使えんかというような、そういう教室になってるものですから、ぜひこういうことを考えながら、先をもう少し見越した計画をしっかりと立てていただいて、まだこれから住宅が建ってくるんです。新清洲の辺なんかも、新しい住宅が建って、建てられる方はみんな若い方が多いものですから、小学生とか幼稚園児、保育園児が見えますので、保育園の件とはちがうんですけど、そういう形で小学校だけでも、長期計画をしっかりと立ててやっていただきたいと思いますので、その場づくり、その場だけの張り合わせしないように、ぜひよろしく。何か考えがありましたらお答えください。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

天野委員さんのおっしゃるとおりでございます。このことに関しましては、今、構造等も見ながら、きちっと検討を教育委員会、市当局ともあわせて検討させていただいておるということで、決してそのまま放置をしておくということではなくて、前向きにいろんなことを、少しでも一歩でも進められるように、教育委員会、市当局も考えておるところでございます。

天野 武藏委員

はい、ぜひお願いします。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

天野 武藏委員

はい。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

ほかに御質疑はございませんか。

はい、どうぞ、猿山委員。

猿山 由利子委員

済みません。今の同じ小学校整備では、構造体の耐久性の調査を、築30年代に建てた学校、中学校もそうだと思うんですが、耐久性の調査をされるということですが、これ長寿命化に向けてということですよ。調査はいつごろ行うんですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課、浅田でございます。まず、新年度に入りまして、業者等を決定をさせていただいて、やはり学校の授業等に影響がないようにということで、基本、夏休み期間で何とか実施をしたい。ちょっとその間だけでは無理かもしれませんが、そういった場合も、学校のほうとよく調整をさせていただいて、学校の授業等に影響のないように、業者等と学校とも調整をとりながら進めさせていただきたいというふうに考えております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

猿山委員。

猿山 由利子委員

30年代にできたということだから、もう50年以上、それ以外は30年、40年以上の建物を、構造体の耐久調査をやって、それでいろいろ検討をしているという状況ですが、どんなふう

に調査して、今後、どのような流れになっていくんでしょうか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

まず、調査の方法につきましては、予備調査ということで、設計図書だとか、定期点検等の結

果を確認しながら、まず予備調査を行いまして、調査の位置ということで、コンクリートとかの強度などを調べるために、コアというか抜いてきて、その調査をしますので、その位置を決めたりする、その予備調査から、次に外観、目視等でぱっと見る。その後で物理的な調査ということで、今申し上げたコンクリートの調査するものを何カ所か抜いてきて、それを調査をすると。その中で、構造体内部の鉄筋の腐食の状況でありますとか、コンクリートの中性化の状況、または、コンクリートの圧縮強度の試験など、こういったことを調査をさせていただくと。それについて、一つの指標としているのが、今後20年、先ほど部長も申し上げましたが、躯体として20年ぐらいは大丈夫なのかどうなのか、そういった結果を受けて、今度は先ほど申し上げましたように、国としても今はどちらかという長寿命化ということを言ってきております。そういった中で、じゃあ長寿命化の施策を施していくのか、必要によっては今度は改築というところへの計画を持っていかなければいけないというところでの調査でございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

猿山委員。

猿山 由利子委員

長寿命化でアセットマネジメントの考え方で、今回6つになるんでしょうか、小学校と中学校で。これはもう全て30年代にできた、建てられた学校で、あと残りは、築年数は、その辺はどうなって、今後の予定とかは計画の中に入ってるんですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

それは先ほど部長のほうからも御答弁申し上げましたように、ただ、清洲中だけは、ちょっと30年代ではなく40年代でございますが、市内小学校3校、中学校3校を26年度に実施をさせていただきたいと。ほかの施設も30年代ではないんですが、御存じのように、どの施設も老朽化は進んでおりますので、また、27年度以降で調査のほうを実施をしたいというふうに、今のところ予定をさせていただいております。

猿山 由利子委員

ありがとうございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

猿山 由利子委員

はい。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

浅井ですが、先ほどちょっとお聞きしたのかもしれないですけど、この整備費の中に体育館、後でまた前田さんにお聞きするんですけど、体育館の代替施設としての小学校体育館とか中学校のイメージになっちゃうんですけど、中学校の整備費の中に体育館の代替ということで、何かその整備費が見込まれてるんですか、この中には。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課長、浅田でございます。新川体育館を廃止解体するというので、それに伴いまして、市内小中学校の体育館を新たに何か手を加える整備をするという計画はございません。ただ、体育館がなくなりますので、各小中学校の体育館の学校開放としての利用は、一部ふえてくるのかなということは想定はしておりますが、それに伴います整備ということでは、特段に予定はしておりません。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

浅井ですが、すると結局、学校開放をすることになりますよね、例えば中学校の体育館を借りたりとか小学校の体育館を借りたりとか。これは余分な心配かもしれませんが、杞憂に過ぎりやそれでいいんですけど、例えば夜やなんかふえるわけですよ、学校施設をね。そうすると、またセキュリティーの問題とかなんとかかんとかいうことになってきやせんかと思うんですけども、そういったことには、現行のままで許可をしていくと、こんな考えでおればよろしいですかね。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課、浅田でございます。今も市内小中学校学校開放施設として対象になっておりまし

て、ただ、その利用の頻度がひよっとするとふえてくるかもしれないということですが、学校に対してのセキュリティーの問題云々ということは、もう今も対応できておるということですので、特段の対応は予定しておりません。

浅井 泰三副委員長

はい、わかりました。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

それでは、88、89ページを終わりにして、ここで55分まで休憩をとりたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

（ 時に午前10時40分 休憩 ）

（ 時に午前10時55分 再開 ）

文教委員会委員長（八木 勝之君）

それでは、再開いたします。

再開に先立ち、佐藤参事より、先ほどの回答についての訂正がございますので。

教育部参事（佐藤 益江）

申しわけございません。天野委員から御質問いただきました清洲小学校の現在のクラス数でございますが、5クラスですので、申しわけありませんでした。

天野 武蔵委員

5クラス。

教育部参事（佐藤 益江）

はい、5です。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

それでは、88ページ、89ページについて、御質疑のある方。

どうぞ、横井委員。

横井 敏雄委員

横井です。89ページ、小学校教育振興費7千500万の中の、需用費が2千772万計上されておりますが、議会でもいろいろこれ、小学校の教育振興費については議論されておりますが、この中の児童図書の購入費を年回これ幾らぐらい含まれておるのでしょうか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課、浅田でございます。学校ごとに差異がございまして、多いところは50万ほど、少ないところは20万程度の要求ということでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

横井委員。

横井 敏雄委員

学校でいろいろあると思うんですけど、各学校ごとのそういう要望とか集計したリストというのは、ありますか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

リストと申されますと、図書の内容でございましょうか。

横井 敏雄委員

ええ。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

予算の段階では、総額図書購入費としての要求でございまして、各学校ごとで持っておりますので、私どものほうでは、各どういった図書を予定しておるといところまでは提出をさせておりません。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

横井委員。

横井 敏雄委員

要するに、各学校のどういう図書とか、そういう細かいものについてはさておいて、清須市、これ今、事業費が2千772万9千円ですか、計上されておるわけなんですけど、その中で、そういう児童図書購入費というのは、当然これに含まれておると思うんですけど、含まれておりますよね。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

図書購入費、含まれております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

横井委員。

横井 敏雄委員

その金額を、ちょっと教えていただきたいということです。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校ごとということをございましょうか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

横井委員。

横井 敏雄委員

細かいのは後で表か何かで示していただきたいんですけど、ここで今、私が言ってるのは、トータルで清須市として、来年度やられてるかなということです。当然それを積み上げて数字はこれ、計上されてると思うので、とりあえず今、清須市全体で幾らかなということです。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

大変申しわけございません。一覧にまとめたものはあるんですが、ちょっと今、こちらに持ち込んでおりませんので、後ほど御答弁させていただくということをお願いをいたします。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

横井委員。

横井 敏雄委員

それじゃあ後ほどということをお願いしたいんですが、同様に、同じページ、中学校の事業費1千175万、これ計上されておりますので、これについても図書購入費、各学校別とトータルが幾らであるというのを、ちょっと教えていただきたいと思います。

私がこれを質問するというのは、ほかでもいろいろ議論されましたが、現在の学校図書、これを充実していかななくてはならないと、これは一つの課題だと私は思っております。結構、私の孫も小学校に行ってますので、いろいろ聞くんですけど、学校の図書が古いとか、いろんな、余り

借りてこないという、私のうちの場合は余り借りてこないと。実際借りてくる場合、清須市の図書館のほうね、あちらに行って、1人で行けないんですね、向こうは。1人で行けないけど、まあ借りてくると、あそこで。そういう状況ですけど、なかなかやっぱり十分利用してないような状況を聞きますので、その辺で予算がどれぐらい計上されたかということ。

ちなみに、現在、学校図書の貸し出し状況というか、1人に月当たりの貸し出しの回数というか、あるいは1回当たりこれ何冊、今、学校図書は借りられるんですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

申しわけございません。学校図書に関しては、期限は1カ月、それで、1回につき1冊ということ承知をいたしております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

横井委員。

横井 敏雄委員

これに関連してですけど、本会議でも議題となっておりましたが、学校別の図書標準がいろいろ、3校ぐらい達成されてないと。廃棄処分やなんかしてね、そういうことのお話がありました。そういう中で、これも後ほど結構なんですけど、学校ごとのその図書の達成状況、リストがあるというふうに聞いてますが、それもあわせてちょっとお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

天野委員。

天野 武藏委員

88、89ページの学校管理費の中に入ってたと思うんですけど、清須市は独自で雇用している先生、見えると思うんですけど、中学校なんか。何人ぐらい見えて、どのぐらいやっているかということは、前年度に比べてどうなってるかということをお聞きしたいんですけど。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課、浅田でございます。賃金、市で雇用をしておる少人数学習指導講師ですとか、そういったところを各事務費の中に入れておまして、賃金として。人数的には25年度と変わらない人数で配置をさせていただきたいということで考えております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

人数は同じだということなんですけど、そのときに教師が時間で決められるよね、あれ。時間が減っているのか、そのままなのか、前年度と同じなのか、時間を少しでも短くして、これを削減してるかしてないかということもあるんですけど、どうですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

時間については、25年度から7時間ということで、時間のほうを、ほんの少しでございますが短縮をした部分がございます。1日7時間勤務ということで少人数学習指導講師、それから、学校支援員ということで、時間のほうは7時間ということでさせていただいております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

ということは、25、26年でも同じ7時間だと認識しております。それ以外に、週に3日とか4日とか見えたりとか、4時間とか5時間で、そういう臨時みたいな職員さんもお見えになるんですか、職員というか先生みたいな。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

今、申し上げたのは少人数学習指導講師、それから学校支援員ということでございますが、そのほかに、スクールカウンセラーとか、そういった先生は、スクールカウンセラーは週に1回、学校のほうにおります。小学校でございますが、におるということでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

臨時という中で、2人のときに、2人目の先生なんかは、そういう教職員だけど、臨時に来てもらってるとか、そういうような先生が見えるわけじゃないかな。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

そういった手についてるとか、というものは、今の少人数学習指導講師だとか支援員とかで当たっておるということでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

僕が聞きたいのは、そういう先生の長年にわたる質が先生としてのやっぱり、そういうところに働いて、しっかりとした生活が成り立つだけの収入がないと、時間があるところに先生が移動していく可能性があるんですね。そうすると、いい先生が確保できないというところが、僕、問題じゃないかなと思って、今、いろんなことをお聞きしているわけです。週に何時間だけ働いて、これだけの月に収入があれば、公立中学校でもやってもいいんだけど、いや、よそに行ったらもっともらえそうだね、時間もあってということで、そういういい先生が、どんどんどんどん流出しちゃっては、僕は困るので、そういうお聞きしてるんです。何も削減するばかりでいいとは思ってないものですから、そういうところを聞いてるんですけど、教育長さん、どうでしょう、そういう危機感ということはない。今回ちょっと中学校で余り持ててないようなこともあったりしたりしてるものですから、先生の質というのは、僕は問題にしていると思うんですけど、どうでしょうか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

今の現状を他市と比べてましても、そう遜色はないものですから、例えば極端に大きな差があるならば、そちらのほうに人材が流れていってしまう、これは天野委員さんのおっしゃるとおりでございます。ですが、今現在、清須市が雇用している条件は、他市と比べてもそんなに遜色はないんじゃないかと。そうすると、教職という職業柄、その学校に対して愛着を感じ、引きつい

て継続してやっていただけるという、そういうような状態が今、続いているのではないかと私は認識しております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

ぜひ、いい人材を雇用していただけるようお願いして終わります。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

村瀬委員。

村瀬 勝哉委員

済みません。89ページなんですけど、小学校の記念品より、小学生なんですけど、今現在、各学校から不審者が出たよというような情報が入ってくるんですけども、その対策は届いたときには、もう翌日になったりなんかして見れないという、特に小学校1年生を気にしてるんですけど、その辺の状況は、各学校、できればすぐ報告があるんですけど、できれば本当は出たような公園の前に、そういう不審者が出たよというような、そういう警告板とかそういうようなものはお考えではないでしょうか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

まず、今の不審者の関係でございますが、入学祝い品の中で、防犯ベルを1年生の入学祝い品の中の一つとして配付をさせていただいております。また、地区によってでございますが市民の方から笛の御寄附を例年いただいております。児童、特に1年生の児童には、それを配付をして、まず身を守る動きをしていただきたいと。

それから、今の不審者情報があれば、当然、学校から教育委員会のほうにも連絡が入りますので、その内容等によって判断をして、学校から保護者宛てにメール等の配信もさせていただいております。また、場合によっては、先ほど申し上げた青少年家庭教育相談員、学校教育課の中に2名おりますので、即座に現場に急行をして、状況確認ですとか、被害に遭った子供の事情の聴取などを迅速に対応していただいておりますが、その場所に対しての啓発看板というようなことは、学校教育としては今のところ実施をしておりません。以上でございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

村瀬委員。

村瀬 勝哉委員

特に、今、見回り隊もいろいろ各種、子ども会のほうとか、子ども会で自発的にやってるんですが、やはりメールでやっぱり登録してある人は、いろんな情報が入ってくるんですけど、僕らもたまたま朝、そういうことがあるよということで、ほかのメンバーに話しますが、やはりできればそういうのがあったというところを、本当はこの辺に出たよというような情報は、本当は何かの方法で掲示してもらおうとかという方法があれば、周りの人、ほかの一般の方が特にわからないので、できれば今後もしもあれば、そういうこともあわせて考えていただきたいというふうに思います。これは要望です。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

村瀬 勝哉委員

はい、以上です。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

猿山委員。

猿山 由利子委員

済みません。小学校の教育振興費の中で、ちょっと細かいんですが、需用費の中で、学校新聞の説明の内容のところ、学校新聞、通知表、賞状ということが内容説明があって、ここの事業費が641万3千円というようになってるんですね。25年度は15万ということで500万以上のアップなんです、それ同じ説明で、何か今年度は特別なことがありますか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

昨年のここは、分けの部分で、需用費の中の26年度につきまして、学校新聞、通知表、賞状、需用費の中の印刷製本費の部分が、こちらの事業費として当たってきておるというふうに認識をしておるんですが、昨年度この表記のところ、今のちょっと認識を項目の拾いを、ちょっと誤っておったというふうに認識をしておりまして、内容的には変わっておらんのですが大変失礼をいたしました。昨年は、印刷製本費、25年度については印刷製本費ということで項目立てをして85万7千円、それで、内容としては一緒でございまして、ただ、ことしは区分が需用費とだ

けなっております、学校新聞、通知表、賞状などとなっておりますが、一番大きな部分が、社会科の副読本を26年度に現行のものから改訂をするということで、そちらがその印刷製本費の部分560万ほどが予定をしております、その部分の差異ということでございます。大変失礼いたしました。

猿山 由利子委員

それが含まれてるということですね。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

「など」のところで、本当はそちらを内容のところに表記すべきであったかと思いますが、大変失礼をいたしました。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

猿山 由利子委員

はい。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

それでは、次に、90、91ページに移りたいと思います。御質疑のある方はいらっしゃいますか。よろしいですか。

（ 「はい」 の声あり ）

じゃあ、次に92、93に移りたいと思います。

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

浅井です。ちょっと細かいことで恐縮なんですけどね、きのう市民センターね、多分半旗になってたよね。多分東北のあれで半旗にしてたと思うんですけど、見解として市長さん、全部統一できんかね、ああいう。例えば、本庁がきのうとかとったわね。ああいうのどうなんですか。全部半旗にしてた。ごめんね、ちょっと。

人事秘書課長（加藤 秀樹君）

人事秘書課長、加藤でございます。ただいま半旗の関係でございますが、全施設、昨日におきましては半旗とさせていただきます。以上でございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

あ、そう。済みません、ちょっと見損ないました。いや、市民センターが半旗になってたし、それで本庁を通ったら何か半旗じゃなかったような気がする。ごめんなさいね。最近、年のせいか目が悪くなっちゃって、申しわけないです。大変失礼しました。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

浅井 泰三副委員長

以上です。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

それでは、94、95ページに移りたいと思います。

横井委員。

横井 敏雄委員

横井です。95ページの下段のほうですけど、総合型地域スポーツクラブ、補助金、加盟分の360万計上されておりますが、このスポーツクラブというのは、これ、改正されておりますが、その中の種目なんですけど、なかなかなじみが私はない種目が結構多いんですけど、要するに、もっと、例えばテニスとかピンポンとかバドミントンとか、そういう一般的に我々もよく知ってるし、なじみのあるそういう種目がなぜないのかというのをお尋ねしたいんですけど。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

前田課長。

スポーツ課長（前田 剛史君）

スポーツ課長の前田でございます。ただいま御質問がございました清須スポーツクラブ、昨年の4月より開始をいたしまして、今年は種目をふやしまして16種目で展開をしているわけですが、今、委員がおっしゃいました内容でございますが、できるだけ現在ある卓球ですとかテニスですとか、そういったところは体育協会ですとか、そういったところで活動をされております。

清須スポーツクラブというのは、現在のところ、いろんな種目を体験してほしいなということで、健康体操が主なんですけど、そういったところを中心に、「このクラブへ行くと、いろんなスポーツが体験できる」というのがコンセプトでございますので、体育協会等と競合しないように、会員の取り合い等がないようにということで、競合しないようにということで、種目を選定をし

ております。以上です。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

横井委員。

横井 敏雄委員

今おっしゃいました競合しないよというお話なんですけど、できれば要するに、バドミントンとかしたいときは体育協会へ入るといふか、そういうふうになさいということだと思ふんですが、なかなか体育協会のほうへ、ちょっと敷居が高いという感じがして入りづらいという方も見えるかと思ふんですけど、その辺はそういう考えで設定されてるといふことだと思ひます。

また、中にヨガとかジャズ、ヒップホップですか、がございましたよね。これは一般男女ですか。それで、子供がこれ参加はできないんですかね。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

前田課長。

スポーツ課長（前田 剛史君）

ただいまの御質問ですが、これも先ほどの答弁と似通っておりますが、子供のチーム、ダンスチーム、ジャズ、ヒップホップですとか、そういったものはたくさんございますので、子供さんはそちらへ行っていただこうと。一般の方は一度ここで健康を兼ねて、そういった種目に挑戦していただこうと、そういうようなことでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

横井委員。

横井 敏雄委員

そういうことだということなので、しかしながら、中には親子で参加したいという方も見えるわけなので、そういう方は別々に参加しなさいというふうになるということですかね、やはり。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

前田課長。

スポーツ課長（前田 剛史君）

親子体操教室というのもございますので、いろんな要望が市民の方からございます。こういう種目をやってくれとか、こういう体験をしたいとかいうのもございますので、そういったことも皆さんの御意見をいただきまして、また種目のほうを考えていきたいと思ひます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。ほかに御質疑は。

村瀬委員。

村瀬 勝哉委員

95ページの体育振興費なのですが、この予算は、昨年度と大体一緒なんですかね。体育祭は、昨年度はたしかもう、どしゃ降りの雨で、2カ所ぐらい、たしか中止になったと思いますが、その中で、いろんな景品なんか余ってんじゃないかなと思うんですが、その辺のところはどうでしょうか。余ってればことしのほうが少なく済むんじゃないかなと思うんですが、キャンセルなんかはできないと思うんですが、その辺のところはいかがでしょうか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

前田課長。

スポーツ課長（前田 剛史君）

スポーツ課、前田でございます。確かに昨年、雨天で中止になりました。その賞品等につきましては、使えるものはことし使わせていただくということで、予算については昨年と同じ予算がついております。余剰金が出た場合は、市のほうに実行委員会から返還をしておるとというのが現実でございます。以上です。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

村瀬委員。

村瀬 勝哉委員

村瀬です。やはり、このときに非常にスポーツの推進委員の方には、非常に前日から当日まで苦勞をかけているわけなんです、一応、この方たちには、特に謝礼とかそういうようなことはないのでしょうか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

前田課長。

スポーツ課長（前田 剛史君）

スポーツ推進委員の方々は、年報酬で委託をしております、それ以外のものは報酬等はお渡しはしておりません。以上です。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

村瀬委員。

村瀬 勝哉委員

非常に大変な仕事なので、できればそういう年報酬等、できればもう少し上げていただいたらいいかなと思います、その辺はどうでしょうかね。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

前田課長。

スポーツ課長（前田 剛史君）

今、おっしゃるように、スポーツ推進委員、本当に少ない年報酬でございますが、1年間を通して非常に忙しく働いております。よろしくお願ひします。

村瀬 勝哉委員

よろしくお願ひします。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

ほかに御質疑はよろしいですか。

猿山委員。

猿山 由利子委員

清須ウオークのことでお聞きするんですが、26年度からスポーツ課が担当ということで、春・秋2回で500万円のこれ、一般質問でちょっと出てたんですが、1回に250万をかけてという状況ですが、ここら辺の、250万をかけてという中で、どんなふうに使っているのでしょうか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

前田課長。

スポーツ課長（前田 剛史君）

清須ウオークでございますが、先ほど御説明しましたとおり、ことしからスポーツ課が担当いたします。金額も年間500万というお金がついておりますが、主にシャトルバスの運行というところが大変高くなっていくかなということで、委託でやっておりますので、この金額、もしかすると体育協会ですとか、体育指導員、スポーツ推進員とかでやると、もう少し削減はできるのかなとは思いますが、ちょっと、ことしからということですので、一度やってみて削減が図ればというふうに考えております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

猿山委員。

猿山 由利子委員

ぜひ、いろいろ検討してください。よろしくお願いします。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

浅井ですが、今の、先ほどの体育館の代替施設ということで、前田さんところが防災センターに行かれますよね。防災センターの青写真というのは、どっかで出てたのか、ちょっとわからないんですが、防災センターは基本的に、例えば1階の部分というのは、今、倉庫になってますよね。ああいうところを整理して、簡単な軽スポーツとか、例えば卓球がやれるとか、バウンドテニスができるとか、意外とその柱さえ苦になれば、そういった有効利用ができないかなと思うんですけど、今は主はどういうふうになってますかね。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

前田課長。

スポーツ課長（前田 剛史君）

スポーツ課、前田でございます。現在、利用されているのは1階は防災倉庫という形で利用されていると思います。2階の部分が集会室、大きな集会室がございますので、そこを今どういった形態で利用したいという御要望もお聞きしております。スペースですとか、それから床の強度、それから壁の強度、防音、そういったところもありますが、その辺のところをよく検証いたしまして、大きい部屋ですので、卓球ですとかバウンドテニス、きのうもちょっと現場を見てスペースをはかったんですが、バウンドテニスは可能だということで、その辺のところを今、検証しています。

浅井 泰三副委員長

2階で。

スポーツ課長（前田 剛史君）

2階部分でございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

浅井ですが、基本的には1階はやっぱり今までどおり防災倉庫としての機能しか、としてしか使わないということなんですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

鷺見部長。

総務部長（鷺見 雅一君）

総務部長の鷺見でございます。1回の部分の防災備品、いろんなものが入っております、やはり防災を考えていく上で、やはりそういう集積場というんですかね、1カ所まとまったところがないと、なかなかあちらこちらに分散するのはいいんですけども、じゃあそれだけ各学校へ持っていけるかといったら、また学校もそれだけ余力がないもんですから、今のところ、やはりああいうところで1カ所で集中的に管理していかざるを得ないのではないかと考えております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

浅井ですが、これ1つお願いなんですけども、もともとあそこ、工場なもんですから、結構1階の建屋が高いんですよ。僕はかなり空間スペースというか、べたに、べた置きが多いと思うんですよ、少しは棚がありますけど。しかし、もう少し常設の柱を立てて棚をつくれば、ボートなんか軽いから、皆さん力持ちなんで、まあリフトが要るかもしれないけども、ボートぐらいはそうやって、あれだけ高い建屋だから、もっとう収納を上手に考えれば、あれはべた置きで、上へどンドンどンドン積んでいって下から引っ張り出すのも大変だと思うし、ボートの中に何か入ってたり、もう少し整理すれば、ほかのもっと前田さんのほうで有効利用できへんかな、そちらへ移るんだったらね。

それで、いろんな要望の中で、ここも要は体育館の代替施設をできるだけたくさんとったほうが、「ここもありますよ」という、いろんな相談を、要望を聞かれた中で、やっぱりいろいろあると思うんですよ。少しでも応えられるには、そうしたことも市として防災倉庫として使ったけど、こうやって皆さんのために整理整頓をして、あえて有効利用を図っていただく努力をしてるというようなところも、別にポーズとかそんなことじゃなくて、実際問題でどうですか。いつも何かもったいないなと思いつつ見させてもらってるんですけど。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

鷺見部長。

総務部長（鷺見 雅一君）

総務部長の鷺見でございます。あそこは一定の防災備品が置ければ、別段残ったスペースをど

ういう形で使っていくかというのは、また別の問題で、それはそれでいいと思います。例えば、スポーツ課長が申しあげましたのは、2階のほうで考えている。恐らく、行って見て、壁のつくりから、2階の部屋のつくりで、壁なんか全然違ってますよね。環境としてはもう2階でやられたほうが、きっといいだろうという選択で、スポーツ課長は申しあげておると思います。

そうした中で、これからニーズが、どういうニーズがさらに出て、もっと積み上がってきたときには、改めて、そういう壁やなんかでも環境が違ってきますけど、そういうのも備品をきちっと整理できれば、またそういうことも考えてまいりたいと思っております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

いや、それね、ぜひ考えるやなくて、やっていただきたい。これはこの倉庫、はっきり言って、見させてもらおうと、もう雑然としている。整理整頓というのは、もうける第一歩だから、部長それ、ちょっとここで確約して頂戴よ、今年中にやるとか、補正を使ってでもあそこを整理して、いやいや、本当にきちっとしようよ、もうあそこ。何か本当もったいない。上がようけあいとるもん。いっつも思うね、あそこ行って、柱つくって棚つくってあげれば、ちょっとリフトか何か、リフトというかクレーン。クレーンもね、もったいない、電気では。手でやれるのが、こうガラガラとね。幾らでもそういった安く上げることはできますので、ぜひあそこを整理していただければ、スポーツ課長もいろんなことにまた、「ここもあいてますよ、ちょっと使って頂戴よ」ということもできると思うんですよ。どうですか、それ。それだけのことをやっていきましょうよ。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

鷺見部長。

総務部長（鷺見 雅一君）

まず、防災の備品でありますけど、棚をつくって置いてある、奥のほうは置いてますので、まず防災の備品のところは、どこまでも防災優先にしてありますので、取りやすく、また整理ができるようには、一応もうなってますので、それに引き続き、そうしてまいりたいと考えております。

中に一部、防災の備品ではないようなものも中にありますので、それを早急に課の者に行って整理をしてまいりたいと考えております。以上でございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

いろんなものを置いてあってね、広いからね、広いもんで何でもかんでも、まあ我々もそうなんですけど、できるだけ天井につくまで使いましょうよ。そうすりゃ、あれ半分ぐらいあいちゃうと思うよ。だから、半分で卓球もやれりゃ、バドミントンもまあバドミントンをやるには天井が低いかもしれないけど、何でもやれると思うんですよ。ぜひお願いします。まあ今度なったときに、また再度確認しますので、よろしくお願いします。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

浅井 泰三副委員長

はい。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

ほかによろしいですか。村瀬委員。

村瀬 勝哉委員

済みません、もう一つ。体育館がなくなることによって、非常に皆さん小さい部屋を探しにあちこち回られるばかりなんですけど、鍵の問題が非常に、直接ここでは関係ないかもわかりませんが、水の交流ステーションの鍵を借りに、さわやかプラザまで行かないかんとかということだそうなので、もうそういう鍵の問題をできるだけ早く、できればいいんですけど、もう本庁の市民課でも鍵が借りられるとかというような方法を考えてあげれば、今までは体育館だったから、近くですぐ済んだのでいいんですけどと言って、やはり年齢が高い方については、いろいろ大変という話がちよくちよく出てるので、そのあたりもぜひ要望ですが考えていただきたいというふうに思います。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

答弁はいいですか。

村瀬 勝哉委員

答弁はあれば。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

前田スポーツ課長。

スポーツ課長（前田 剛史君）

済みません、スポーツ課、前田です。今、委員がおっしゃったのは、恐らく水の交流ステーションだと思います。あと、新川地区内である施設は全て、新川体育館のほうで鍵の貸し借りをやっております。水の交流ステーションは所管が違います関係で、上下水道課のほうで担当しておりますので、鍵の貸し借りというのは実際はないはずです。地元の方が管理をしてみえて、利用があるときに、その地元の方が出向いて管理をしているというのをお聞きしております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

村瀬委員。

村瀬 勝哉委員

要望なんですけど、できればなかなかその管理している方に行くとか、いろいろ皆さんのうわさの話でわからないですが、鍵はたくさんつくって、いろんところで貸し出すよというような話をしているそうなんですけど、できれば近場の本庁で借りれば、一番まあ安心だというふうに思いますが、その辺もあわせて考えていただきたいと思います。以上です。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

では、最後に96、97ページに入りたいと思います。

天野委員。

天野 武藏委員

この給食センター費のことで、ざっと大きなのでお聞きしたいんですが、ここの学校給食センター整備費を除いた運営費、管理費、事務費等で、これはことしの1年間なんですけど、旧給食センターがある8月まで、4・5・6・7・8月まで5カ月間と、新しくなった9・10・11・12・1・2・3月の7カ月間、この分けて当然、積算もしてあると思うんで、その分けたのをざっとお聞きしたいんですが、どうでしょう。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課、浅田でございます。まず現センター、それから新センターでございますが、それぞれに、まず事務費の関係でございますが、それぞれの項目ごと、事務費、管理費、運営費ということで把握をさせていただいておりますので、それごとによろしいでしょうか。

天野 武藏委員

足してもらってもいいんやけど。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

まず、事務費でございますが、現センター部分が。

天野 武藏委員

ざっくりでいいよ、そんな、何千何百何円まで。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

現センターが3千200万円ほど。新センターが5千200万円ほどになります。それから管理費でございますが、現センターが2千100万、新センターで4千300万。それから運営費部分では、現センターが1億800万、新センターで2億1千200万。以上でございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

今の旧センターのときの、この3つ足した分と、それから新センター、すぐに今、計算機を持ってりゃ足して5カ月と7カ月で割ると1カ月はどっちがやっぱりかかっているかというのを、ちょっと聞きたいんだけど、ちょっと計算できる。計算機持っている。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

ざっと今申しあげました額を足し込みまして、それを現センター、4月から8月ということで5カ月、それから新センターを9月から翌年3月ということで7カ月で割りますと、現センター分は2千万ほどになります。新センターでは4千400万ほどになります。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

1カ月が。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

はい。

天野 武藏委員

倍以上になるんだっけ、新センターになったら運営費と管理費と事務費で。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

大変申しわけございません。足し間違いがございまして、現センター分が3千200万でございました。申しわけございません。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

それにしても、今の給食センターでは7月8月は夏休みになるということで、そんなにお金がかからないということもあるかもしれんですけども、1カ月単位には、調べると1千万近く月に余分にかかるということなんですけど、どういうことでそうなるんでしょうね。新しく作り直して1カ所に集約するということは、少しはコスト、せめて前年度並みか、それ以下になるという理解をするんですけど、我々というか僕としては。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

まず、一番大きく影響するだろうというふうに認識がありますのは、配送の委託でございます。現在はシルバーさんですとかで依頼をさせていただいておるんですが、新センターになりますと、民間の業者での配送を予定をさせていただいておりまして、ここがすごく大きな影響が出る部分というふうに認識をいたしております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

今までどおりシルバーさんにやっていたということとは検討しなかった、全て委託という形で。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

新センターになるに当たりまして、現行シルバー人材センターさんのほうにお願いをしておりますので、一応お願いをしてみました。ただ、その規模になると、シルバー人材センターのほうでは受けることができないという御回答でございました。よって、給食時間ですとか、1カ所から全小・中・幼・保へ配るというところで、可能であるのは民間の事業者というところでございまして、そちらへ委託をするということで計画をさせていただいたということです。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

まあこれからそれも入札かけられるかと思うんですけど、見積もりは見積もりでこれだけ違うということで、1千万も違うということでは、それだけとは考えづらいですけどね、配送だけということは。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

櫻井部長。

教育部長（櫻井 広根君）

櫻井です。ただいま課長から説明させていただきましたけども、現在、シルバー等でということで、シルバーで頼んでいるのが清洲の学校給食センター、これは保育園用。春日の学校給食センター、これが学校・保育園と、小学校は隣接ですので、センターからそのまま運びますので、そういうことで、それは車両は市の車両でやっております。それで、あとの清洲・新川・西枇杷は民間で今もやっております。全体で5台で運用しておるといことなんですけども、今回は1カ所にまとめることによって、配送の距離が多くなるということになりますので、配送する車両を9台を見込んでおります。大体走行距離にして、1日450キロほど走るということと、現在はオープンデッキというんですか、ホームで受け渡しするということですので、事業者の車両、そういうコンテナ付のリフトがついておれば、どういう車両でもある程度対応できた。それは道路事情がありまして、2トンベースということもありますけども、新しい給食センターは、ロックシェルターできちんとした外気が入らない寸法に決まりますので、車両を特定しなければいけないという制約がございますので、車両に係る経費関係もかかってくると。対象の今、民間委託を3人でやっておるのが9人になって車両もふえてくると。走行距離もふえてくるというようなことで、現在、大きくここで差が生じておるといことでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

今の説明の中で、車両はそういう限定されるということで、その車両が限定されることを、こちらの清須市が別に持つわけじゃないからね。委託会社のほうが、それは全部自分とこで変えるというか、対応できる車両を入れるというだけで、それもひっくるめての入札になってくるわけかね、そうじゃないよね。それなら、今回のこの1千万ぐらい違うのが、今年度だけで、来年度からはぐっと下がりますよという意味なら、まだわかるけどね。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

櫻井部長。

教育部長（櫻井 広根君）

車両は持ち込みでということで、市の車両を利用していただくということで、運転業務だけではございませんので、車両と運転業務とあわせてということになりますので、特定の車両ということになりますので、単年単年で契約しますと、1年にかかる車両の買って使われるのかレンタルとか、そういうことになりますと、年当たりの単価が高くなるということで、予算のほうでも6ページで債務負担行為ということで、長期にわたってやったほうが、その車の償却というんですか、それが下がってくるということで、債務負担で計画をさせていただいてるという内容でございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

まあ大体理解はできましたけど、1つにしたという意味からも、我々が見れば、1つに集約したんだから、事務費にしてもこういう同じような金額が、事務費がかかっちゃうとね、今だと、4カ所で同じようなことをずっと事務の管理をやってるのに、1カ所になったのに、そんな事務費も削減できないとかね、同じような金額がかかるというのもどうかなと思っちゃうんですけど、そういうことで、できるだけ、これから今年度は今年度で予算がこれだけかかると思うんだけど、来年度以降、どれだけ削減して、今まで以下になるような努力をしていただきたいと。じゃないと1カ所に集約した意味がない。

それで、9台にされたということで走行距離が伸びるということは、今までの5台で行ってるから5台は何回か行ってるわけだね。小学校行って、次に保育園に行くとか、そうやって近いか

らやってるもんですから、9台だったら行く場所は遠くても1回行けばそれで済むということもあるわね。それを変えていて段階のいうことはないと思うんですよ、台数だけはふえても。やはりそういうことも考えて、だって給食の食数は一緒なんだから。今までどおりだ、持って行くのはね。それを急にあっちこっち行くことない。9台になれば、逆に4台だったら、1回行けば済む場合4台だったら2回行ってということになるもんですから、何かその辺をちょっと。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

加藤所長。

新川学校給食センター所長（加藤 嘉一君）

済みません、新川学校給食センター、加藤です。今、天野委員が言われた配送車の台数がふえるのはというふうに言われましたが、学校給食衛生管理基準では、共同調理場においては、調理した食品調理後に、2時間以内に生徒たちが食べるようにできるようにするために、配送車を必要とするように手配しなさいよ、なんです。それで、1カ所のところから多方になると、やっぱりどうしても2時間以内に食べていただくには台数が余計要るようになるもんですから9台にふやしたというふうで、承知しております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武蔵委員

台数は別にふやされてもそれは仕方ないけど、それは台数をふやされたことで、1回行けば済むわけだから、2時間以内だから。今、清洲だったら少ないシルバーさんなんかが行っても、1回行って戻ってきて、また載せてまた行くということがありますね、全体の台数が少ないから。そういうことは、距離が走行距離が9台でずっと伸びるというのはどうかなという感じがした。9台だと、1回行ってしまえば、もうそれで済むはずですよ。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

櫻井部長。

教育部長（櫻井 広根君）

延べ走行距離がふえるというのは、4つの拠点から行ってくる往復の距離と、中心からの往復の距離ということで、全体でどうしても伸びちゃうと。先ほど、喫食時間が2時間ということですから、2時間前に到着すればいいというわけじゃなくて、給食センターでもできればとか、異物混入がないかとか、いろんなことで検食しますけども、学校のほうにも2時間以上前に校

長先生だとか、そういう代表の方が、責任ある方が、児童に渡す前に検食すると、それからクラスのほうに配膳していくということになりますので、実際2時間というよりは、もっと狭い時間帯で配送しなければいけないというようなこともありまして、台数はどうしてもふえているというようなことでございます。

あとは、全体的には新年度、初めて運営するというでもありますので、運営をしながら、例えば光熱水費であったり、ほかの経費であったり、やりながら節減できるところは当然ながら節減しながら、また新しい面に対して、予算で見えるようなことがあるように取り組んでいきたいというふうに考えています。

天野 武蔵委員

はい、了解しました。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

昼、12時半ぐらいまでかかっちゃうけど、休憩で、また後でいいです。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

それでは、ここで休憩に入りたいと思います。

1時30分より再開をいたしたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

（ 時に午前11時51分 休憩 ）

（ 時に午後 1時30分 再開 ）

文教委員会委員長（八木 勝之君）

それでは、休憩前に引き続いて会議を再開いたします。

再開に当たって、浅田課長のほうから午前中についての御回答がいただけるということでございます。

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課、浅田でございます。午前中に御質問をいただいております小中学校の図書購入費の関係の答弁のほうをさせていただきたいと存じます。

まず、小学校の図書購入費でございますが、8校トータルで286万円でございます。中学校でございますが、4校トータルで98万7千円の図書購入費の予算ということで、26年度のほ

うで計上をさせていただいております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

横井委員、よろしいですか。

横井 敏雄委員

これ、トータル出たわけで、その内訳というのは、またペーパーか何かでいただけますか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

できたら口頭でお知らせをさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

横井 敏雄委員

はい、ほんなら。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

では、順にお願いをいたします。西枇杷島小学校20万円、古城小学校52万5千円、清洲小学校30万円、清洲東小学校40万円、新川小学校85万円、星の宮小学校18万円、桃栄小学校同じく18万円、春日小学校22万5千円、トータル先ほど申しあげました286万円でございます。

それから、中学校でございますが、西枇杷島中学校20万円、清洲中学校同じく20万円、新川中学校30万円、春日中学校28万7千円、トータル98万7千円の予算段階での要求額でございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

横井 敏雄委員

はい、いいです。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

じゃあ、御質疑は。

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

あと、午前中の答弁の中で、1点訂正をお願いをいたしたいと思います。よろしいでしょうか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

はい。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校の関連の構造体の耐久性調査のところで、清洲中が40年代ということで御答弁申し上げてしまったんですが、清洲中学校も36年ということでございまして、今年度予定しておる6校全て、30年代の最初の建設というところでもございましたので、訂正をさせていただきたいと存じます。よろしく願いをいたします。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

じゃあ、また前回に引き続いた質問になろうかと思うんですが、浅井ですが、今の給食についてですけども、先ごろ、文科省が食物アレルギー対策ということで、実態を保護者への申告を徹底せよと。どうも保護者も以外と安易に考えて、なかなか症状に対する理解度といいますか、実際に全国40万人以上のアレルギー児童がいる中で、診断書といいますか、そういうを出しているのが4割近くしかない。そのうちまた重篤な生徒が、そのうちの2割ぐらいしか出していない。こんなような調査の結果、全国の各小中学校へ、いわゆるアレルギーの子供を調査せよと、こんなことが通達されてると思うんですけども、本市の場合、出さなきゃ出さなくてええがやというもんじゃないと思うんですけども、そういった父兄に対する注意を促すというか、そういうことはどういうことをやってるんですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

櫻井部長。

教育部長（櫻井 広根君）

教育部長の櫻井です。委員御質問の最近、報道でも目にしておりますアレルギー実態、その中で医師の診断書を添付するよというふうなことで報道がされておると。それが現行として、清須市としては、今までどうであって、これからもどうであるかと、そういう御質疑だと思いますけれども、今、卵のアレルギー、今実際、学校のほうでやっておりますけれども、そういうところの生活管理指導票というアレルギー関係の調査票がありますけれども、そちらのほうに医師の診断をつけていただいておりますというふうで、今も診断のほうをとって対応をしているというところでもございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

ごめんなさい。ちょっとよくわからないんだけど、それはそうであろうということで、無差別に全父兄さんに通達を出して、お宅の子はいかがですかということをお聞きしてるということですか、調査してるということですか。ちょっとよくわからなかったんですけど。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

櫻井部長。

教育部長（櫻井 広根君）

はい、アレルギー関係、アレルギーといっても食物アレルギーとほかのいろいろアレルギーがありますけども、そういうアレルギー調査という項目もありますし、それでその中の食物アレルギー、健康に関することということで、生活上制限があるだとか、そういうようなことで、生活管理指導票というのを、学校のほうで作成して持っておるわけなんですけども、そのアレルギーの中でも、そうやって、今、卵アレルギーでの実際対応というのは、こういう対応食をやりますよ、やっていますよということで、全員に対してそういう症状がありますか、どうですかということで、実際には学校のほうでも、保護者との個別面談で聞き取りをして、そういう生活管理指導票のほうでは、医師の診断をつけていただいて対応をしているという状況でございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

浅井ですけど、今回、文科省が、その卵や乳製品の食物に関して調べなさいという通達だと思うんですけども、それらを広く全般、本市ではいろんなアレルギーについて皆さんどうですかということを調査してるということですか。その今の卵と。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

加藤所長。

新川学校給食センター所長（加藤 嘉一君）

新川学校給食センター、加藤です。お答えいたします。食物アレルギーの調査につきましては、毎年、年度初めに調査を行っております。その中に、食物アレルギーでどんなようなアレルゲンがあるかというような、全校生徒、児童生徒に対して調査を行っております。その中に、重篤とかアナフィラキシーのあれがあるというような項目を設けまして、保護者の方から全部回答をい

ただいております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

そうすると、本市の場合は、この今の文科省が言ってるような、漏れとか、父兄が無関心と言っちゃ御無礼なんだけど、そうした子供さんは見えないということで、そういうふうに理解していいんですか。要は、今それだけ全国で見ると、数割の人しかきちっと届け出をしない、医師の診断書を持ってこない、そうした中において、やっぱり死亡事故も現に昨年も発生しとるわけやね。死亡事故までいなくても、やっぱりかなり重篤な重体になったり、それを向こうもいやなわけですよ。本市の場合は、そうしたことが、せっかく給食センターもできることだから、そうしたことに対して、きちとなされてるということでよろしいんですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

加藤所長。

新川学校給食センター所長（加藤 嘉一君）

新川学校給食センター、加藤です。前年度の調査ですけれども、市内の小中学校児童生徒数対象者が5千343人の方から回答をいただきまして、その中で何らかのアレルゲンがあるというふうで、これは重複するアレルゲンの方も見えるかわかりませんが、342人の児童生徒の方が、何らかのアレルゲンを持っているというふうで、調査の回答は集計がまとまっております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

浅井ですが、そういう子は、やっぱり医者診断書といえますか、例えば前からお話ししている、今、発作が起きたりした場合に、緊急の場合にエピペンを使うとか、そういったやっぱり中には、そういったところまでお医者さんが診断書の中でうたっているものも、まあ漏れなくと言ったら、ちょっと言葉はあれかもしれませんが、そうしたことを全部フォローしてるということでもよろしいですかね。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

加藤所長。

新川学校給食センター所長（加藤 嘉一君）

新川学校給食センター、加藤です。その調査書の中には、自分の子供がアレルギーがひどくて、アナフィラキシーのおそれがあるというような回答項目欄を設けてありますので、それで確認しております。そういう児童生徒については、先ほど部長も言いましたが、生活管理指導票のほうの提出をいただいて、学校のほうでも管理ができるようなふうになっております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

それで、前の話に行くんですけども、今のそうした、もしも子供さんが誤って食べたとか、そういうときの対応のために、職員の方が保健師というんですか、だけじゃなくて、一般の教職員さんも全てそうした緊急措置がとれる、そういった講習といますか、そういうものを随時、前回のときには、そういったものを受講していただくと、こういうことでしたよね。どうなんですか、計画的にそれはこれから全職員にわたって、そういった講習をされていくものなのか、それとも一部にとどめるのか、その辺の方針はいかがなんですか。いや、これで大丈夫ですよ、こういう対応でいいですよというところまで、ちょっとお話ししたいんですけど。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

教育長。

教育長（齊藤 孝法君）

全ての学校で、エピペン使用を含めた対応ができるように、日ごろから取り組みが必要だということで、研修会を計画的に各学校とも全職員を対象に行っております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

あ、そうですか。浅井です。ぜひお願いします。

それで、もう一点よろしいですか。もう一つ、これも前にちょっと、似た話かもしれませんが、栄養士さん、管理栄養士さんが見えですよ。今、それぞれの給食センターにお見えですよ。こういった方々は1つになったことによってどういう処遇をされるわけですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課長、浅田でございます。まず、学校栄養士につきましては、今後、26年度は途中からでございますが、その後、学校栄養士のほうは人数が減るということで認識をしております。あと、保育園の栄養士につきましては、市のほうの職員としての採用でございますので、こちらは給食センターのほうに残って対応してまいるということでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

浅井ですがね、今のその学校栄養士さん、県の職員さんということですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

そういうことでございます。

浅井 泰三副委員長

でね、今、実際問題、全国では栄養教諭というのが非常にばらつきがあると。東京都に至っては4%しかいなくて、一番何か人が行き届いているのは鹿児島かどっかだったかと思うんですけども、80何%だと、非常に全国に開きがあるんだけど、本市の場合は、これで今度、余るわけですよ、そうすると。そういう場合は、雇用の問題になってくると思うんですけども、そう簡単に県が引き取っていただけるわけですか、そういった余ってるからといって。いかがなんでしょうか。よそへ転校していくというか転籍というか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

余るといいますか、基準がありまして、食数とかによって学校の栄養士は何人という基準があります。今の清須市からいきますと、減らされる方向で、それは県のほうで、またどこかのところへ所属が変わってまいるということで、こちらは県のほうの人事の関係で、所属がえが実施をされるということで認識をしております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

ちなみに、ついでで申しわけないですけど、愛知県はどうなんですか、全国の平均に比べて、全国平均からすると、その愛知県というのは、学校栄養士さんの充足率というのは、いかがなんですか。全国的には本当は余ってるという言い方をすると先生に失礼なんだけど。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

充足率といいますのは、例えば定年になられたり、自己都合退職とかされた場合は、当然、県のほうの人事のほうで補充をしたりしておるということで、充足はしておると思っております。

浅井 泰三副委員長

ああ、充足してるということね。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

はい。そこら辺の学校栄養士に関しては、栄養士については充足をしておるというふうに認識をしておるんですが、今、先生がおっしゃった栄養教諭というのと、今の栄養士とは、また異なっておりますので、学校栄養士に関しては充足をしておるというふうに認識をしておるところでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

浅井ですがね、その栄養士さんですけど、これ、今、保育園にお見えですよ。失礼な話が、余ったと言えは変な言い方ですけど、どういう職にされるわけですか、今後は。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

柴田部長。

企画部長（柴田 定男君）

企画部長の柴田でございます。まだ実際に人事異動とかそういう段階ではございませんけれど、今、管理栄養士という形で栄養士さんがいらっしゃいますけれど、栄養士さん、管理栄養士さん、それぞれ資格を持った方がいらっしゃいます。今現在4カ所にいらっしゃるわけですけど、それが1つになるということで減員になるんじゃないかという御意見かと思っておりますけれど、まだ新給食センターでどれぐらい要るかとか、そういう具体的な話まで進んでないといけないんですけ

れど、普通で考えますと減るだろうというような考えになりますけれど、ただ、清須市全体を見た場合に、例えば栄養指導を行う場所は、保健センターだとか、そういったところも考えられますので、そういった市の中で、必要な資格として使える場所ということをもた考えていきたいと、そういうふうに考えております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

1つは、ここでは所管外なのかもしれないですけども、例えばこれは前田さんのほうの話になってくるのかもしれないんですけども、例えば福祉センターやなんか、これまでもいろいろ栄養士さんの指導のもと、いろんな教室を開いたりしとるんですよ。今回、体育館での何だっけ、炊事場、料理する部屋ありましたよね、あれが当然なくなっちゃうということで、例えばここにある福祉センターやなんかの部屋を、そういった管理栄養士さんの余ったと言え失礼だけど、そういうところへ出向いて、今現実、教室が不足しておるとか、それは前田さんのほうで把握していると思うんだけど、やる部屋がなくなったとか、やれ遠くなるとかどうのこうのとかいう、そういった話にも、そういった福祉センターを、そういった栄養士さんを通じて、であれば、僕はそういった施設も対象として、貸すというもた貸し出しの施設じゃないとかいうもた怒られちゃうんだけど、そこでそういった教室を栄養士さんのもとで、そういったみんなで楽しく料理をつくる時間をもう一遍復活させるとか、そういったところで。そうしたことも一つの選択肢だと思うんですけど、そういう使われ方というのは。広い話でちょっと申しわけないんだけど。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

副市長。

副市長（永田 純夫君）

委員がおっしゃる栄養教室とか、いろんな場面で、例えば健康推進課で栄養教室をやってますね、生涯学習課で料理教室をやっておるかどうかちょっと私は知りませんが、その場合は、その教室ごとに、栄養士さんの臨時職員をしっかりと活用してやっておりますので、市の職員は、今は栄養士は給食センターにおりますけども、委員がおっしゃる実際に統合すれば余ってくるだろうということにつきましては、人事担当のほうでしっかりと把握しておりますので、今後、その辺を詰めてやっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅井副委員長。

浅井 泰三副委員長

そう心配したこっちゃないと、こういうことですね。いや、そんな人事のプロにね、どうだこうだという釈迦に説法になっちゃうので、あれなんだけど、おこがましいかもしれないんですけども、一つはそういったお互いの需要と供給のバランスじゃないけども、一方では部屋がないとか、一方ではやるところがないとか、鍋、釜がないとかガスがないとか言ってるから、そういった部屋を活用するには、そうした1つの、ちょっとイレギュラーな形になって、国を欺くことになるかもしれんけども、そういう変換期でもって、今、前田さんがいろんなことをしとると思うんですけど、そういったものにも、ちょっと対応されたいかがですかというような、これは、かといって余りわがままを聞いてもいかんかもしれないですけど、ここだけの、しかられちゃうんですけどね、そういった対応も1つの方策ではないかなということで、ちょっと釈迦に説法になっちゃうので余り言えないけども、ぜひそういうことも考えていただくということでお願いしたいと思います。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

浅井 泰三副委員長

ええもう、何かありますか、ないでしょう。そういうことです。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

村瀬委員。

村瀬 勝哉委員

今まで現在、賄材料ですけど、今までは各学校給食センターで、各業者さんが入れてたので、非常に少量のものを扱ってみえたんですが、新学校給食センターになりますと、大量な量になるので、今まで賄材料を各、今まで業者さんでやってたところでは、その対応ができないというようなことが出てくるかもわかりませんが、それは一応、清須市の業者さんをそのまま使うというようなお考えでしょうか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課長、浅田でございます。本会議でも同じような御質問を頂戴したというふうに認識

をしておるんですが、確かに今、4センターでそれぞれということで納品、納入していただいていた。今後1つになったときに、やはり発注ロット等が大きなものになるということで、今、個人事業主さん方がそこに参画できるかというような御心配もあるというところで、今その調達基準に関して、調整をさせていただいております、そういった方々が1つの何ていうんですか、塊となって、納品に向かっただけなのか、そういった動きも期待をしながら、また、市のほうとしてきちとした調達の基準、こういったものを詰めて、今まさに詰めておる最中ということでございまして、そういった個人事業主の方を切り捨てるのではなくて、何とか参画いただけるような形にならないかというところを、今、検討させていただいておりますというところでございます。よろしくお願いたします。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

村瀬委員。

村瀬 勝哉委員

村瀬ですけど、ぜひとも小さいからということじゃなくて、ぜひともそういうことでお願いしたいというふうに思います。別にその出先ではありませんが、やはり小規模事業者を救っていくというのも大切なことだと思いますので、よろしくお願いたします。以上です。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。それでは、これで質疑を終わります。

平成26年度清須市一般会計予算案所管分について、採決をいたします。原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

文教委員会委員長（八木 勝之君）

全員賛成であります。よって議案第1号 認定第1号 平成26年度清須市一般会計予算案所管分については、原案のとおり承認されました。

次に、議案第11号 清須市社会教育委員条例の一部を改正する条例案についての説明をお願い致します。濱島課長。

教育部次長兼生涯学習課長（濱島 治久君）

それでは、提出案件のほうをよろしくお願いたします。提出案件11ページになります。

議案第11号 清須市社会教育委員条例の一部を改正する条例案、上記の議案を提出する。平成26年3月3日提出。清須市長 加藤静治。

提案理由を申し上げます。この案を提出するのは、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法令の整備に関する法律による社会教育法の一部改正に伴い、社会教育委員の委嘱の基準を定める必要があるからです。

右のページをお願いします。清須市社会教育委員条例の一部を改正する条例案でございます。改正内容でございますが、第3条の見出し中、「定数」の次に「及び委嘱の基準」を加え、同条第2項中、「関係者」の次に、「家庭教育の向上に資する活動を行う者」を加える。附則、この条例は平成26年4月1日から施行する。

提案理由のほうでも理由がございますが、地域主権一括法で省令を参酌して町村の条例において社会教育委員の委嘱の基準を定めることとなりましたので、一部改正するものでございます。

以上です。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

ありがとうございます。それでは、質疑を受けたいと思いますが、御質疑はございませんか。

猿山委員。

猿山 由利子委員

今、御説明いただいたように、一括法が24年3月9日に国会提出されて、25年6月14日に公布されたという件の流れからですよ。これはつけ加えるのが、「家庭教育の向上に資する活動を行う者」というのを加えるということですよ。これは国の法律で社会教育委員の委嘱の基準というのは、附則の中に家庭教育の向上に資する活動を行う者というのを、法律の中にはうたってあって、市が独自にそれを参酌しながら、市の条例としてこれを基準にしながら参酌しながら条例を定めるというふうにとということですよ。これを市としてつけ加えるということですよ。ろしかったですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

濱島課長。

教育部次長兼生涯学習課長（濱島 治久君）

はい、そういうことでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

猿山委員。

猿山 由利子委員

ですよ。それで、その家庭教育の向上に資する活動を行う者というのを、これ具体的にどの

ようなものを想定をされていますか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

濱島課長。

教育部次長兼生涯学習課長（濱島 治久君）

実は、既に社会教育委員さんは、平成25年6月1日から平成27年5月31日までということで、任期中でございます。それで、現在その委員の中に、家庭教育連絡推進協議会というメンバーの方がおります。その方を家庭教育向上活動者というふうに位置づけさせてもらい、また、女性の会の代表の方も、既に任期で在籍をしてみえますので、その方を今回、家庭教育向上活動者ということで、任期中は今のメンバーでやっていきたいということで考えております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

猿山委員。

猿山 由利子委員

社会教育委員の定員は20人でよろしいですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

濱島課長。

教育部次長兼生涯学習課長（濱島 治久君）

はい、条例の中で委員の定数は20人以内ということで、定めがございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

猿山委員。

猿山 由利子委員

その今、つけ加える家庭教育の向上に資する活動を行う者という人は、別に何人でも、全体で20人以内ならという条件で、今は2名いらっしゃるということですね。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

濱島課長。

教育部次長兼生涯学習課長（濱島 治久君）

今回出た省令でも、人数の縛りは別段ございません。

猿山 由利子委員

ですね。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

猿山 由利子委員

はい。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

ほかに御質疑はございませんか。それでは、これで質疑を終わります。

議案第11号 清須市社会教育委員条例の一部を改正する条例案についての採決をいたします。
原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

＜ 挙 手 全 員 ＞

文教委員会委員長（八木 勝之君）

全員賛成であります。よって議案第11号 清須市社会教育委員条例の一部を改正する条例案については、原案のとおり承認されました。

次に、議案第12号 動産の取得についての御説明をお願いいたします。

浅田学校教育課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

学校教育課長、浅田でございます。同じ資料の13ページをお願いいたします。

議案第12号 動産の取得について。下記の動産を取得することについて、清須市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定により議会の議決を求める。平成26年3月3日提出。清須市長、加藤静治。記でございますが、1といたしまして、取得する物品、清須市新学校給食センター消耗品一式。2で、取得金額でございますが、1億238万4千円でございます。3、契約の相手方、愛知県清須市西枇杷島町旭二丁目22番地。ハヤカワ産業株式会社、代表取締役、早川賢でございます。4、契約の方法は、一般競争入札でございます。

右側の14ページのほうをお願いいたします。その物品購入入札結果報告でございます。物品名は清須市新学校給食センター消耗品一式。納入場所は愛知県清須市一場弓町173番地1。購入内容は消耗品一式ということで、食器、箸、スプーン、フォーク、食器類のかご等々のものがございます。開札日時といたしまして、平成26年1月29日。購入業者は先ほど申し上げましたハヤカワ産業株式会社でございます。入札金額は金9千480万円。消費税込み1億238万4千円でございます。納入期限が平成26年7月31日でございます。備考といたしまして、入札の参加業者6社でございますが、業者名、入札金額は記載のとおりでございました。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

ありがとうございました。

それでは、質疑を。

天野委員。

天野 武藏委員

お聞きします。これは一般競争入札ということで、誰でもというか、されど基準でありますか、これ。一般競争入札、ありましたね、基準が。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

一応、公告のほうでさせていただいて、ただ、今おっしゃいましたように、給食に関連する物品ということでございますので、余り多くの業者はないというふうな認識はございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

もちろんこの6社しか応募がなかったという認識でよかったんですね。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

そのとおりでございます。6社の入札参加でございました。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

それで、このハヤカワ産業株式会社、ホームページ等載ってるかなと思ったら、インターネットでも全然出てこなかったんですけど、どのぐらいの会社なんですかね。資本金だとか、そういうものに関してわかりますか。普通ならホームページぐらい載ってるかなと思って、どのぐらいの会社かなと自分も調べてはみたんですけど、何も出てこなかった。僕の調べ方が悪いのかもしれないですけど。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

申しわけございません。ちょっと資本金等の資料については、今、持ち込んでおりませんが、各給食センターのほうでも、日常的な、少ない規模でございますが、取引はある業者ではございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

後でもいいですけど、従業員がどれぐらいだとか、そういうのも認識してみえない。大体でいいですけど。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

従業員数についても、承知はしておりません。申しわけございません。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

これ、見積もりはこちらのほうで出されたのか、設計等の見積もり金額はどっかに委託されたのか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

給食センターの関連で、この物品購入に関しても、設計業者と、こちらは市の独自で準備室のほうでカタログ等からピックアップをして、意見聴取はちょっとさせていただいて、このぐらいの定価に対するこのぐらいのというところで、設計をさせていただきました。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武藏委員

じゃあまあこの今、入札された業者のほうから、設計見積もりをとったとか、そういうことはないということでよろしいですね。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

はい。カタログ等で物を見ながら、定価に対しておおよそということで、若干、どのぐらいの納入率とかというのは、現の給食センターに入っておるようなものを参考にしたりはしておりますけれども、そういったものを見積もりをとったということではございません。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武蔵委員

じゃあ、見積もり設計段階でこちらがきちんとして、カタログ等を見られたということだから、それに準じた、それ以上のものは入札にかかったということでよろしいですね。品物を入れるものは。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

はい。同等以上のものでということで認識しております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

天野委員。

天野 武蔵委員

じゃあ、後で先ほど来の教えてください、会社の規模。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

ほかに御質疑はございますか。

横井委員。

横井 敏雄委員

横井です。一応、これ新学校給食センター物品購入費が9千480万で落札ということなので、これは新学校給食センター、これで事業費というのは、大体確定されたわけですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

おおむね確定をしておりますが、まだ26年度で工事等もございますので、その辺は債務負担行為というところで決定をさせていただいておるところでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

横井委員。

横井 敏雄委員

この主要施策の概要ですね、ここに一応見込みということで総事業費が書かれておりますよね、17億7千900万ということで書かれておりますが、これって去年もこれ、黄本によりますと21億3千万という見込みになっておりましたが、3億6千万ぐらい、これは減りましたよね。一応これは総事業費が、前年度は21億3千万というふうに書かれておまして、今年度はこれを見ますと17億7千万。その減額になった理由というのは、あれですかね、主な理由としてはどういふことが。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

櫻井部長。

教育部長（櫻井 広根君）

櫻井でございます。主な理由というのは、例えば本体工事、厨房設備工事が、昨年度、入札をして契約議決をいただいておりますので、それが当初、それより予算額は多く見ておりましたけども、一般競争だとか、そういう入札により減額で、確定したものは下げさせていただいておりますので、予定ということは今後、また一部ありますように、きょうの当初予算の中でも、配送費やなんかで金額を示させていただいたように、まだ、確定していない部分もございますので、予定ということでございます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

横井 敏雄委員

結構です。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

ほかに。

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

先ほどの天野委員の御質問でございますが、ハヤカワ産業株式会社でございます。資本金が1千500万円でございます。常勤の職員数といたしましては14人ということでございます。

天野 武藏委員

はい、了解です。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

ほかに御質疑はございませんか。

よろしいですか。猿山委員。

猿山 由利子委員

済みません。消耗品の一式でございますが、12月のときには備品を多分、購入されてたのをお知らせいただいたと思うんですが、これは古いところから、現在の4つの給食センターから消耗品でも使えるような物を持ってくるというのはないですか、全てですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

厨房備品、その他もろもろも含めまして、什器類も含めて、こういった備品に関しましても使える物は使わせていただくということで運ばせていただいております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

猿山委員。

猿山 由利子委員

4つの中の1つの給食センターにお勤めの方のお話なんですが、使える物を、例えば鍋なら鍋であるけど、これ1つしか持っていないよと。3つあるのに、3つ使えそうなんだけどって。ひどいもう、すごいぼろぼろのそれを持っていくと、どうなってるんだらうねという声をちょっと聞いたんですけど、そこら辺の選定というかその辺は、どなたが決めているんですか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

まず、新しいセンターの衛生基準、それから規格等で合うかどうか、そういったことが、もちろん大前提にはなってますけれども、そこは厨房の工事を落札をした業者が現場を見たり、

そういったことの中で責任者も含めて、現場の調査をさせていただいて、これは新センターで規格等も合うから持っていきましようというところで、中には新しくても持ち込めない物もあって、非常にそこは残念なところもあるんですが、規格等で調査をさせていただいた中で、新しいセンターのほうへ移行する予定で進めさせていただいております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

猿山委員。

猿山 由利子委員

同じ物が3つあって1個だけ持っていくという意味、状況といますか。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

浅田課長。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

失礼いたしました。同じ物で規格が合えば、持ち込むというように認識をしておるんですが、最初に、先ほど申し上げたように、持っていけるかどうかというところを調査をして、不足する分を新規で用立てるという運びにしておりますので、ドライ使用で利用できない物もあるかもしれませんが、全く同じ物であれば、持ち込む予定をさせていただいておると認識をしておりますが。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

猿山委員。

猿山 由利子委員

そこまでおっしゃるので、そこら辺また、済みません。直接見てないので申しわけないですが、また見てきます。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

お釜という今、お話だったんですが。

猿山 由利子委員

例えばの話で。ごめんなさい。

学校教育課長兼新学校給食センター準備室長（浅田 克幸君）

お釜とかは当然、調査したんですが、こちらの消耗品に関しては、まだこれから精査をする部分はあるんですが、お釜等に関しては、もうそういったことで十分調査をした中で、移設するもの、そういったものを抽出をさせていただいております。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

猿山 由利子委員

はい。とりあえず。調べてきます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

それでは、議案第12号 動産の取得について、採決をいたします。原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

文教委員会委員長（八木 勝之君）

全員賛成であります。よって議案第12号 動産の取得については、原案のとおり承認をされました。

次に、議案第15号 平成25年度清須市一般会計補正予算（第4号）案の所管分について歳入歳出、続けて説明をお願いいたします。濱島課長。

教育部次長兼生涯学習課長（濱島 治久君）

生涯学習課長、濱島でございます。それでは、平成25年度補正予算及び説明書をお願いいたします。教育部所管分を一括で説明をさせていただきます。

まず5ページをお願いします。第2表繰越明許費補正でございます。10款教育費、2項小学校費では、古城小学校、清洲東小学校、新川小学校、星の宮小学校の整備費、3項中学校費では、新川中学校、春日中学校の整備事業費で、各小学校の体育館の天井や外壁などの非構造部材の耐震改修工事を、国の経済対策に呼応して前倒しで3月補正で予算措置を行い、翌年度に事業を実施するため、繰り越すものでございます。

1枚めくっていただきます。第3表債務負担行為補正でございます。2段目、夢広場はるひ管理業務指定管理者委託事業、その下、勤労福祉会館管理業務指定管理者委託業務、アルコ清洲でございます。その下、地域文化広場管理業務指定管理者委託事業、カルチバ新川でございます。いずれも平成26年4月1日からの消費税増税分の追加分と、また、アルコ清洲については、新川体育館の取り壊しに伴う代替施設として、午前中、開館することによる経費も含んでおります。

右のページ、7ページになります。第4表地方債補正でございます。起債の目的、小学校整備

事業費と中学校整備事業費は、先ほどの各小中学校の体育館の非構造部材の耐震改修事業による増額で、公民館整備費と学校給食センター整備事業は、工事等の予算執行額が確定したための減額をするものです。なお、起債の方法、期日、償還の方法には変更はございません。

それでは、歳入の14、15ページをお願いします。下のほうになります。13款国庫支出金、2項国庫補助金、5目教育費国庫補助金、補正額2億4千856万8千円の増。1節の小学校費補助金から5節保健体育費補助金までで、小学校費補助金は、小学校4校の体育館非構造部材の耐震改修と、あと1校は下水切りかえ工事に係る交付金でございます。中学校費も、2校の体育館の非構造部材の耐震改修に係る交付金でございます。保健体育費補助金は、新学校給食センター整備に対する増額でございます。

2枚めくっていただきます。中ほど17款繰入金、2項基金繰入金、1目基金繰入金のうち、説明欄で一番下、義務教育施設整備基金繰入金2千500万円の減で、中学校代替グラウンド及び新給食センター整備費に係る減額でございます。

その次、一番下になります。19款諸収入、5項雑入、4目雑入、10節教育費雑入で、補正額が10万7千円の減額で、中学生海外派遣研修費負担金が確定したため減額をいたしました。

1枚めくっていただきます。2段目、20款市債、1項市債、4目教育債、補正額7千900万円の減、1節小学校債から4節保健体育債までで、1節、2節の小中学校債については、先ほど来の説明の体育館の改修のための増。3節、4節は市民センター、春日公民館の改修及び新給食センター建設に係る減額でございます。

続いて歳出をお願いします。32、33ページになります。下の段になります。10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費、補正額404万5千円の減。9節旅費から20節扶助費までで、補正の主なものは、私立幼稚園等就園奨励費補助金の減額で、執行額が見込まれたための減額でございます。

次のページをお願いします。2項小学校費、1目学校管理費、補正額2億5千180万円の増。13節の委託料と15節工事請負費で、各小学校の体育館の非構造部材耐震化工事関係でございます。3項中学校費、1目学校管理費、補正額8千409万円の増。13節委託料と15節工事請負費で、清洲中学校整備費の減は、代替グラウンドの工事の執行額の確定による減額と、新川中学校及び春日中学校は、先ほどの小学校と同じ体育館の耐震化関係の増額でございます。

次に、5項社会教育費、1目社会教育総務費、補正額57万円の減。9節旅費と13節委託料で、中学生海外派遣費の執行額確定による減額でございます。2目公民館費、補正額2千54万

3千円の減。11節役務費から15節工事請負費までで、主なものは、それぞれの施設の整備費で、施設改修工事費の執行額の確定によるものでございます。4目社会教育施設費、補正額57万2千円の減。にしびさわやかプラザの減額で、これは施設の管理委託料の執行額の確定によるものです。

1枚めくっていただきまして36、37ページ、6項保健体育費、3目給食センター費、補正額1億9千334万5千円の減。13節委託料と15節工事請負費で、新学校給食センターの建設工事費等の執行額確定による減額でございます。

教育部所管分は以上でございます。よろしく申し上げます。

文教委員会委員長（八木 勝之君）

ありがとうございました。

それでは、説明は終わりましたので、質疑のある方、歳入からまいりたいと思います。4ページ、5ページについて御質疑はございませんか。よろしいですか。

（ 「はい」 の声あり ）

それでは、6、7ページ。よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

14、15ページ。よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

では、18、19ページ。よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

それでは、20、21ページ。よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

では、歳入のほうは終わって、歳出のほうは32ページ、33ページ。よろしいですか。

では、34、35ページ。よろしいですか。

では36、37ページ。よろしいですか。

では、質疑を終わります。

平成25年度清須市一般会計補正予算（第4号）案所管分について採決をいたします。原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 全 員 >

文教委員会委員長（八木 勝之君）

全員賛成であります。議案第15号 平成25年度清須市一般会計補正予算（第4号）案所管分については、原案のとおり承認されました。

以上で、文教委員会に付託されました全議案についての審議は終了いたしました。

これをもちまして、文教委員会を閉会いたします。早朝から、御苦労さまでございました。

（ 時に午後2時28分 閉会 ）

清須市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

平成26年3月12日

文教委員会委員長 八 木 勝 之